
年 報

第41号 令和5年度

八 戸 市 博 物 館
八 戸 市 史 跡 根 城 の 広 場
八 戸 市 南 郷 歴 史 民 俗 資 料 館

令和5年度年報発行にあたって

八戸市博物館は、「よみがえる歴史 ひらけゆく未来」をメインテーマに、考古・歴史・民俗の3分野から構成される人文系博物館です。令和5年度は、昭和58年の開館から40年の節目を迎えました。

これを記念して、夏季特別展では「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」、秋季特別展では「J-mode 縄文の流儀」を開催し、郷土ゆかりの刀剣と、令和5年6月に重要文化財の指定を受けた櫛引遺跡出土品など、優れた資料を多数展示しました。

一方で、確実に進む施設の経年劣化により、防災、照明、展示の各設備が特に大きな課題を抱えています。これらを解決するため、今後実施予定の大規模改修に向け、展示リニューアルの基本設計を策定しました。

史跡根城の広場では、「史跡根城跡第二次整備事業」として、老朽化した施設の改修と、さらなる活用に向けた整備を進めております。日本100名城や御城印プロジェクトをきっかけに、県内外から多くのお客様にお越し頂き、新型コロナウイルス感染症が5類となったことも相まって、過去2番目に多い来場者となりました。また「史跡根城まつり」をはじめとする、各種教育普及活動も御好評を頂いております。

南郷歴史民俗資料館では、特別展「八戸昭和の鉄道・バス」を開催しました。鉄道友の会青森支部様、八戸臨海鉄道株式会社様、八戸工業大学鉄道研究会様の御協力を賜り、幅広い世代のお客様が、公共交通と地域の歴史に対する理解を深められたと存じます。なお、館内のエアコン設置に伴い、11月1日から3月31日まで臨時休館の措置をとらせていただきました。

結びに、当館の博物館活動の推進にあたり、御指導、御鞭撻をいただきました関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、この年報により当館の活動内容を御理解いただければ幸いに存じます。

令和6年6月

八戸市博物館長
小保内 裕之

目次

八戸市博物館の基本理念1

第一部 八戸市博物館

I 施設のあらまし2

II 展示3

1. 常設展
2. 特別展・企画展
3. 特別展開催歴一覧

III 教育普及17

1. 小中学校等団体利用状況
2. その他学校等団体利用状況
3. 出前授業
4. 浜小屋学習
5. 講師等派遣
6. 催事運営
7. その他の教育普及活動
8. 広報・出版活動

IV 資料管理29

1. 部門別収蔵資料点数
2. 令和5年度寄贈資料
3. 所蔵資料指定文化財一覧
4. 収蔵資料保存修理
5. 保存環境の維持管理
6. 資料の利用状況

V 調査研究37

1. 各分野調査実績
2. 職員の調査研究活動

VI 博物館展示リニューアル事業41

第二部 史跡根城の広場

I 施設のあらまし43

II 展示43

1. 常設展

III 教育普及44

1. 小中学校等団体利用状況
2. 指定管理者自主事業
3. その他の教育普及活動
 - (1) 青森大学共同研究
 - (2) 中世衣装復元製作 with 千葉高 2023

IV 資料管理49

1. 保存修理
 - (1) 史跡根城跡環境整備事業
 - (2) 旧八戸城東門修理

V 根城史跡ボランティア52

1. 概要
2. 根城史跡ボランティアガイド養成講座

第三部 南郷歴史民俗資料館

I 施設のあらまし53

II 展示53

1. 常設展
2. 特別展・企画展

III 教育普及57

1. 小中学校等団体利用状況
2. 出前授業
3. 講師等派遣
4. 催事運営

IV 資料管理58

1. 部門別資料点数
2. 寄贈資料
3. 資料の利用状況

V 調査研究59

1. 調査実績
2. 職員の調査研究活動

第四部 運営・資料

I 運営60

1. 博物館組織及び職員構成
2. 博物館協議会
3. 予算の概要

II 資料63

1. 入館者利用状況
2. 条例

八戸市博物館の基本理念

●八戸市博物館基本理念(昭和58年7月策定)

八戸の風土から生まれ、先人達が守り育ててきた貴重な文化遺産を通じて、豊かな明日を考える。

●八戸市博物館運営基本方針(平成24年7月策定)

1. 郷土の歴史や文化を示す資料を収集・保存し、後世に伝えます。(コレクションポリシー)
2. 魅力的な展示を通して、郷土の歴史や文化を紹介します。
3. 地域の文化を調査・研究し、その成果を郷土の歴史や文化の理解に役立てます。
4. 市民や学校と連携し、郷土の歴史や文化を楽しく学べる教育の機会を提供します。
5. 博物館活動を広く発信し、身近な博物館を目指します。

第一部 八戸市博物館

I 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 54 年 4 月 博物館建設調査費計上
昭和 55 年 5 月 博物館建設基本構想策定委員会
(15 名)設置
第 1 回会議 市長諮問
昭和 56 年 3 月 第 7 回会議(最終会議)
4 月 博物館建設予定地発掘調査
5 月 博物館建設用地決定
7 月 建築・展示実施設計完成
9 月 博物館建設地発掘調査終了
建設工事着手
昭和 57 年 9 月 建設工事完成
博物館駐車場予定地発掘調査
10 月 同上調査終了
昭和 58 年 3 月 展示工事完成
八戸市博物館条例制定
4 月 八戸市博物館協議会設置
第 1 回会議
6 月 外構工事完成
7 月 15 日 開館
開館記念特別展「南部武士展」
開催

【施設概要】

1. 規 模 敷 地 面 積 7,725.00 m²
建 築 面 積 2,073.16 m²
展 示 室 面 積 738.24 m²
教育普及設備 224.88 m²
収 蔵 庫 面 積 819.09 m²
延 床 面 積 3,767.49 m²
2. 構 造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上 2 階 塔屋 1 階
3. 建物設計 株式会社石本建築事務所
4. 建築工事 穂積建設工業株式会社
5. 展示設計 株式会社トータルメディア
・施 工 開発研究所
6. 建 設 費 1,501,252 千円
設 計 費 32,800 千円
本体建築費 694,000 千円
設備工事費 285,150 千円
外構工事費 84,520 千円
展示設計費 8,250 千円
展示工事費 102,900 千円
そ の 他 293,632 千円



Ⅱ．展示

1．常設展

【考古展示室】

八戸及び八戸周辺から発見された縄文、古代、中世の出土品を展示。縄文時代では土器や貝塚、狩猟や漁撈などの生活道具、装身具などで人びとの暮らしを辿る。古代では、飛鳥時代から平安時代の集落や末期古墳群の出土品を通して、蝦夷と呼ばれた人びとの暮らしを紹介。また中世では、八戸発祥の地といわれる史跡根城跡の出土品から当時の地方領主の暮らしを探る。また、「じょうもんの部屋」ではコレクション展示のほか、縄文時代の土器や貝類に触れる体験ができる。



◎展示構成

縄文時代…401点 弥生時代…7点 古代…71点 中世…96点

◎主な展示資料

国重文：「丹後平古墳群出土品」「櫛引遺跡出土品」「薬師前遺跡墓坑出土品」（五戸町所管）
県重宝：「縄文式板状土偶」「縄文式土器」ほか
その他：「長七谷地貝塚出土品」「根城跡出土品」

【歴史展示室】

現在の八戸の基礎となった八戸藩二万石の誕生から明治維新までを、藩主ゆかりの資料や市内旧家に伝わる古文書などで紹介。八戸地方の歴史と産業が江戸を中心とする全国政治経済とどのように関連し歩んできたか、八戸港の発達の様子や、近年まで常に当地方を脅かし続けた凶作・飢饉の様子とその原因を紹介。



◎展示構成

八戸藩誕生…3点 八戸城…58点 八戸の産業…26点 飢饉と百姓一揆…16点
郷土の先人たち…4点 近代の幕開け…2点

◎主な展示資料

「八戸南部家譜」「毘沙門天像(県重宝)」「伏縄目胴丸具足」「八戸城新御殿復元模型」
「八戸藩藩札」「農耕絵馬」「飢饉卯辰築(複製)」「御九代集写」「八戸城図(写)」
「今淵コレクション」

【民俗展示室】

衣食住や農業・漁業などの生業、信仰の資料で、厳しい風土の中を生きてきた八戸の人びとの生活を紹介。また「昭和の暮らし」のコーナーでは、季節に応じた資料を展示している。

◎展示構成

いろりを囲んで…60点 海に生きる…31点
田畑を耕す…20点 町の商い…23点
祈るころ…38点 昭和の暮らし…39点

◎主な展示資料

国重有民：「八戸及び周辺地域の漁撈用具」
市有民：「神功皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)」
その他：「えんぶり烏帽子」「サシコツツレ」「南部小絵馬」



【無形資料展示室】

八戸に伝わる民謡、昔話、わらべ唄、方言、祭り、芸能、八戸の観光、市内学校の校歌を、映像と共に音声を視聴できる。

◎八戸地方の民謡

南部あいや節、南部追分、おしまこ、八戸小唄、南部俵づみ唄など12曲

◎八戸地方の昔話

猿と蟹の話、かくれ里の話、せんだん栗毛、すねこたんぽこ、からやぎの話など15話

◎八戸地方のわらべ唄

だまこ(お手玉唄)、大波小波(縄跳び唄)、いしきりますか(じゃんけん唄)など12曲

◎八戸地方の方言

浜での会話、夕方のだんらん、親子のかたらい、魚菜市場での会話、商家での会話など12話

◎八戸の祭り・芸能、◎八戸の観光、◎校歌



【常設展の展示替え及び展示コーナー】

長期間の展示による資料の劣化防止等の目的から、随時展示替えを行っている。

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
1	歴史	歴史展示室	展示替え	桜	掛軸「桜之図」「名花十友之図」	4.18～7.5
2	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	食文化	南部煎餅のレプリカ9点	5.3～

3	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	食文化	アカハタモチのレプリカ など3点	5.3～7.30
4	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	メドツ	メドツが出るぞ看板	6.28～
5	歴史	歴史展示室	展示替え	特別展「業良キ物」 関連展示	黒呂色塗枝菊文螺鈿鞘大 小拵ほか3点	7.6～8.27
6	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	食文化	盆のお供え物レプリカ	7.31～
7	歴史	歴史展示室	展示替え	八博刀剣コレクション(九)郷土資料とし ての刀剣	刀「武州下原住廣重」ほ か1点	8.29～
8	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	農業	ヒエ、モチキビ、アワ	9.24～
9	考古 (市川)	考古展示室	展示替え	重要文化財「青森県 櫛引遺跡出土品」	土器破片・石器37点	10.7～
10	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	氷都八戸	スケート靴、写真3点	10.20～
11	歴史	歴史展示室	展示替え	—	古くなった展示パネル入 れ替え	1.16～
12	歴史	体験学習室 前廊下	ミニ企画	銭貨・私鑄銭	菅原秀幸氏収集資料ほか	1.20～

2. 特別展・企画展

第106回特別展 「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」

期 間	7月8日(土)～8月27日(日)	47日間
入館者数	5,072人／47日(108人／日)	
展示資料数	122点(パネル展示含む)	
印刷物	ポスター(B2判/カラー)	600枚
	リーフレット(A4判/片面カラー)	40,000枚
	招待券(7.0×19.0cm/片面カラー)	1,000枚
刊行物等	図録「日本刀ー八戸市博物館収蔵資料選集ー」 (A4横/カラー/本文60p)	500部
	一筆箋(190×80mm、20枚綴)	300冊
共 催	公益財団法人日本美術刀剣保存協会八戸支部	
協力機関	一関市博物館、刀剣博物館、八戸市立図書館、 福井市立歴史博物館、三沢市先人記念館、市内個人	



本展では、地元愛刀家たちの逸品を広く一般に公開する機会にすると共に、郷土ゆかりの日本刀や刀工について、地域に眠る新たな資料や情報を掘り起こす契機として開催した。展示構成としては、公益財団法人日本美術刀剣保存協会八戸支部(以下、八戸支部)の会員が所蔵する各時代の逸品から、日本刀が歩んできた時代の流れと郷土ゆかりの日本刀を紹介するとともに、近年当館へも度々寄贈があり、比較資料も増えつつある八戸の郷土刀工「奥観寿吉廣」・「精壮斎宗有」・「精光斎宗重」の作刀と関連資料を取り上げ、その実像の考察を試みた。

八戸支部との共催は、平成12年度特別展「日本名刀展」以来であり、また郷土刀を重点的に

取り上げるのは、昭和63年度特別展「郷土刀剣展」以来となった。これらの特別展では、美術的な視点での鑑賞を中心としていたが、今回は既知の郷土刀工の作例とともに、近年寄贈されたばかりの比較的新しい収蔵資料や、古文書や記録資料、同工が手掛けた鉄製の道具なども併せて展示した。郷土刀工について多角的に知ること、新たな資料の掘り起こしにつながることを期待し、解説パネルやギャラリートーク(展示解説)でも重点的に紹介した。

併催事業には、公益財団法人日本美術刀剣保存協会の本部が置かれている刀剣博物館より、たたら・伝統文化推進課の主任を務める武田耕太郎学芸員を招聘し、たたら製鉄について詳しく学ぶ講演会を実施した。日刀保たたらで行われている作業の映像なども交えながら、充実した内容の講演会となり、好評を得た。このほか、八戸支部会員を講師とする「刀剣初心者講座」、子ども向け体験学習会「根城の鍔を見る・知る・作る」を各2回実施した。いずれも、体験や製作を通して日本刀への理解を深めるきっかけとした。

このほか、ギャラリートークとは別に、実物資料の刀装具などを手に取って鑑賞できるコレクショントークを展示室内で行った。大人だけでなく子どもも興味を持って足を止め、ケース越しの鑑賞とは違い、重量を感じたり細部を観察したりする機会として好評を得た。(山野)



展示風景



展示風景

◎展示構成

ごあいさつ

序 郷土史の中の日本刀

破 日本刀の歴史—その姿かたち—

急 八戸の刀工たち—吉廣・宗有・宗重—

おわりに

◎特別展併催行事

①講演会「日本刀の原点『たたら製鉄』」

日 時 8月19日(土)13:30~15:30

講 師 公益財団法人日本美術刀剣保存協会
刀剣博物館

たたら・伝統文化推進課主任

学芸員 武田 耕太郎 氏

会 場 八戸市総合福祉会館

参加者 52名



特別展講演会

②刀剣初心者講座

日 時 7月16日(日)・8月20日(日)

各日13:30～15:30

講 師 公益財団法人日本美術刀剣保存協会
八戸支部会員

会 場 博物館体験学習室

参加者 延べ45名(各回定員20名)



刀剣初心者講座

③体験学習会「根城の鐐を見る・知る・作る」

日 時 7月17日(月祝)・8月11日(金祝)

各日10:00～12:00

講 師 当館学芸員

会 場 博物館体験学習室

参加者 延べ13組30名(各回定員10組)



「根城の鐐を見る・知る・作る」

④ギャラリートーク

日 時 7月8日(土)・22日(土)

8月5日(土)・12日(土)

各日13:30～14:30

講 師 当館学芸員

参加者 延べ37名(各回定員10名程度)

⑤コレクショントーク

日 時 7月15日(土)・30日(日)

8月13日(日)・26日(土)

各日13:30～14:30

講 師 当館学芸員

参加者 延べ40名(推定)

⑥八戸藩伝神道無念流居合演武

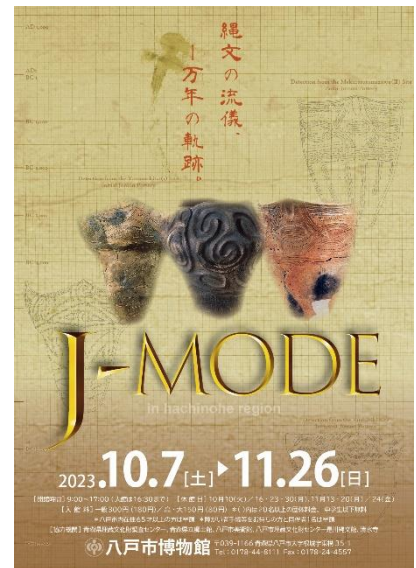
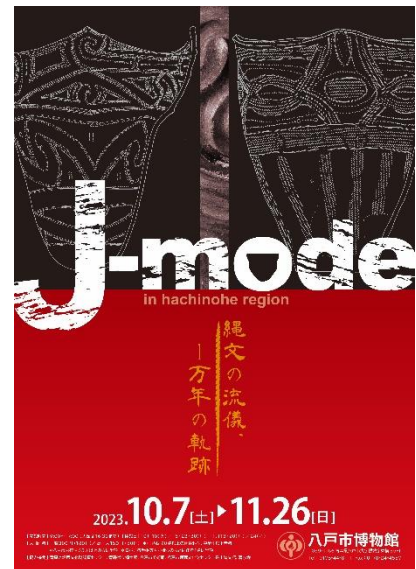
日 時 8月5日(土)・20日(日) 各日13:00～13:20

演 武 八戸藩伝神道無念流居合保存会

※八戸藩伝神道無念流居合保存会事務局からの申し出を受け、博物館中庭にて実施した。

第107回特別展 「J-mode 縄文の流儀」

期 間	10月7日(土)～11月26日(日)	44日間
入館者数	3,797人／44日(86人／日)	
展示資料数	244点	
印刷物	ポスター(B2判/カラー)	600枚
	リーフレット(A4判/両面カラー)	40,000枚
	招待券(7×19cm/カラー)	1,000枚
刊行物等	特別展図録(A4判/カラー)	5,000部
協力機関	文化庁、青森県教育庁文化財保護課、青森県埋蔵文化財調査センター、青森県立郷土館、八戸市美術館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、清水寺、奈良県立橿原考古学研究所、岡本太郎記念館、川崎市岡本太郎美術館、学習院大学史料館、広島大学図書館	



本展は、開館40年及び「青森県櫛引遺跡出土品」の重要文化財指定を記念して、八戸地域における縄文一万年の土器づくりの流儀を紹介した展示である。八戸地域の縄文遺跡でみつかった数ある出土品のなかから、北東北の縄文文化を語る上で欠かせない土器を集め、器のつくりやデザインからみえる縄文人の流儀について理解を深めた。また、大正15年(1926)から新興した民藝運動によりつくられたやきものを通じ、先史時代から近現代へとつながる日本人のものづくりを紹介した。

併催行事では、奈良県立橿原考古学研究所長で文化功労者の青柳正規氏を講演会に迎え、海外の先史文化や美術を踏まえた日本列島の縄文文化の特質について御講話をいただき、盛況であった。また、当館学芸員による特別展のギャラリートーク、重要文化財となった櫛引遺跡出土品のコレクショントークの参加者から好評をいただいた。(市川)

◎展示構成

- I 縄文の幕開け
- II 躍動する縄文
- III マツリと縄文
- IV 縄文のその後
- V 縄文美への眼差し



展示風景

◎特別展併催行事

①特別展講演会

「縄文文化の魅力」

日 時 11月5日(土) 14:00～16:00

講 師 奈良県立橿原考古学研究所長
元文化庁長官、文化功労者
青柳 正規 氏

会 場 八戸市総合福祉会館

参加者 54人



特別展講演会

②ギャラリートーク

日 時 10月7日(土)、11月3日(金・祝)、
11月25日(土)

各日10:00～／14:00～

講 師 当館小保内館長及び学芸員

参加者 延べ41人



ギャラリートーク

③コレクショントーク

日 時 10月15日(土)、11月12日(日)、
11月26日(土)

各日10:00～／14:00～

講 師 当館学芸員

参加者 延べ35人



コレクショントーク

企画展「新収蔵資料展」

期 間 4月29日(土)～5月28日(日)
入館者数 1,837人／28日(66人／日)
展示資料数 182点

令和4年度に寄贈された考古・歴史・民俗の各分野の新収蔵資料を展示した。

考古資料では市内個人収集の縄文土器や南郷小学校旧蔵の土器片など、歴史資料では郷土刀工「宗重」の短刀2点と俳諧関係資料を展示したほか、民俗資料では明治・大正期に学校で使用された教科書類をはじめ、手焼き用の南部煎餅型やえんぶり関係資料などを紹介した。

また5月4日にはギャラリートークを行った。(山野)



ミニパネル展「八戸の災害－東日本大震災－」

期 間 9月1日(金)～9月30日(金)
入館者数 1,457人／27日(54人／日)
展示資料数 23点

平成25年から、毎年9月、災害を忘れず教訓を活かすため、八戸を襲った災害についての展示を開催している。

令和5年度は、東日本大震災等の被害写真や防災関係資料のほか、被災者・支援者のPTSD(心的外傷後ストレス障害)などを取り上げ、震災による精神疾患の周知も行った。(小林)



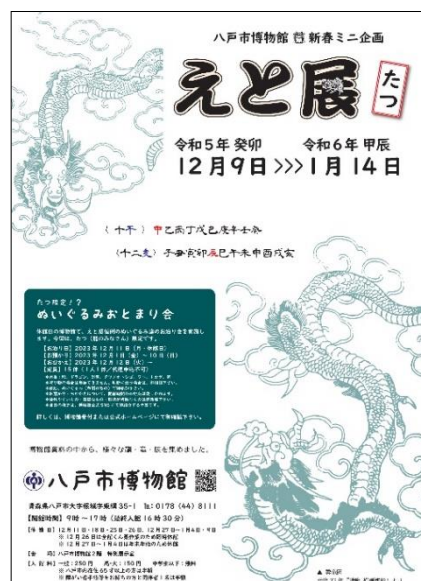
展示風景

新春ミニ企画「えと展 - たつ -」

期 間 12月9日(土)～1月14日(日)
入館者数 739人／23日(32人／日)
展示資料数 95点

収蔵資料の中から、令和6年の干支である「たつ」に関する資料を紹介した。また、十干十二支や暦に関する資料についても、併せて展示した。例年通り、低年齢層を対象として、ひらがなを多用した解説パネルも配置した。

展示室は、初めにその姿かたちを楽しむ「竜から見る」順



路と、十干十二支の解説から始まる「辰から見る」順路を示し、来館者が自ら決定できるようにレイアウトした。

併催イベントとして、休館日の館内をぬいぐるみが探検する併催イベント「たつ限定！ぬいぐるみおとまり会」を実施した。令和2年度「えと展—うし—」より毎年実施しており、今回で4回目となった。竜のほか、恐竜・ドラゴン・ワニ・トカゲ・コイも対象とし、参加者は10人だった。(山野)

企画展「えんぶり展」

期 間 2月3日(土)～3月10日(日)
入館者数 2,314人／35日(66人／日)
展示資料数 146点

えんぶりは、年の初めに豊作を祈願して演じる田植踊で、八戸及び周辺地域のえんぶりは、「八戸のえんぶり」として国重要無形民俗文化財に指定されている。このような八戸を代表とする民俗芸能であるえんぶりに対する理解を深めることを目的に、当館ではえんぶり展を毎年開催している。

令和5年度は、以下の点に留意して展示内容を一新した。

①えんぶりを知らない観覧者のために、基礎的・体系的な内容、②えんぶりを熟知した人が興味を持てるトピックを含める、③リピーターに一目で変わったと思われるレイアウト、④

えんぶりが歴史のなかで変化してきたこと、⑤烏帽子や衣装がよく見える展示、⑥えんぶりの保護継承に資する内容。

初めて出展資料が多く、来場者の満足度も高かったようだが、唄や口上、地名の紹介などが不十分で分かりづらい点もあった。(小林)



◎展示構成

- ① 導入展示
- ② えんぶりの日程—宿開きから摺り納めまで—
- ③ ナガえんぶりとドウサイえんぶり
- ④ 摺りと太夫
- ⑤ 門付けと組の運営
- ⑥ 多彩な祝福芸
- ⑦ えんぶりの歴史—中止と再興—



展示風景

◎企画展併催行事

①講座「えんぶりの見方入門」

日 時 2月10日(土)13:30～

講 師 当館学芸員

参加者 3人

②ギャラリートーク

日 時 2月18日(土)・19日(月) 13:30～

講 師 当館学芸員

参加者 32人



展示風景

企画展「ひな人形展」

期 間 2月3日(土)～3月10日(日)

入館者数 2,314人／35日(66人／日)

展示資料数 77点

当館は八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛のほか、日本各地の郷土雛・郷土人形を多数収蔵しており、本展ではそれらの人形を紹介している。特に郷土雛・郷土人形は、毎年テーマを変えて展示を行っている。

今回は、令和5年1月に発生した能登半島地震を応援する目的で、北陸地域の郷土雛・郷土玩具を展示した。そのほか、大河ドラマでも注目が集まっている『源氏物語』についても取り上げ、これまで展示の機会がなかった六曲一双の「源氏物語図屏風」をお披露目した。

また、例年通り、3月3日にはギャラリートークを行った。(山野)



展示風景



展示風景

3. 特別展開催歴一覧

回	年度	名 称	分野	入館者数	期 間	日数	人/日
1	昭和58	南部武士展	歴史	14,672	7月15日～8月14日	28日	524
2	昭和58	えんぶり～豊作への祈り～	民俗	2,213	1月20日～2月21日	28日	79
3	昭和59	～八戸の南画家～雪焦	歴史	6,725	4月25日～6月10日	41日	164
4	昭和59	土偶～縄文人の祈り～	考古	8,158	7月29日～9月24日	75日	108
5	昭和59	学秀仏～ふるさとの仏像～	民俗	3,682	10月20日～12月9日	41日	89
6	昭和59	縄文の美～是川中居遺跡～	考古	2,150	1月10日～2月27日	40日	53
7	昭和59	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,926	3月10日～4月10日	25日	77
8	昭和60	津要和尚～足跡と作品～	民俗	5,399	4月27日～6月9日	35日	154
9	昭和60	東日本の小絵馬～ねがいと祈りの板絵～	民俗	5,383	7月28日～9月23日	49日	109
10	昭和60	縄文時代の馬淵川	考古	2,889	10月10日～12月8日	49日	58
11	昭和60	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,494	3月16日～4月13日	24日	62
12	昭和61	海のくらしと道具	民俗	4,506	4月27日～6月9日	33日	136
13	昭和61	東北の土人形	民俗	5,325	7月27日～9月23日	50日	106
14	昭和61	弥生時代～米づくりの始まる頃～	考古	3,072	10月10日～12月9日	49日	62
15	昭和61	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,162	3月15日～4月12日	24日	48
16	昭和62	奥州道中と参勤交代	歴史	4,692	4月29日～6月7日	32日	146
17	昭和62	南部馬と人々のくらし	民俗	5,876	7月26日～9月15日	44日	133
18	昭和62	青森県の貝塚	考古	1,992	10月10日～11月29日	25日	79
19	昭和62	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～4月10日	22日	45
20	昭和63	市内神社仏閣秘宝展	歴史	3,881	4月29日～6月5日	28日	138
21	昭和63	縄文の漆工芸	考古	3,171	7月31日～9月4日	30日	105
22	昭和63	郷土刀剣展～八戸藩刀工の系譜～	歴史	2,574	10月9日～11月6日	24日	107
23	昭和63	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～4月10日	22日	45
24	平成元	八戸俳諧のあゆみ	歴史	3,770	4月29日～6月4日	31日	121
25	平成元	いにしえの東日本～古墳文化をさぐる～	考古	4,270	7月30日～9月3日	30日	142
26	平成元	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,106	3月11日～4月8日	22日	48

27	平成2	ひしざし展～南部女性の美～	民俗	3,460	4月28日～5月27日	25日	138
28	平成2	縄文人の世界～縄文後期の生活と文化～	考古	3,374	7月28日～9月2日	30日	112
29	平成2	八戸城下町～城と人びと～	歴史	2,980	10月10日～11月25日	37日	80
30	平成2	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,140	3月10日～4月7日	24日	47
31	平成3	描かれた役者たち～松尾コレクション～	歴史	3,766	4月28日～6月2日	30日	125
32	平成3	八戸の古代～むらの人びとの暮らし～	考古	4,329	7月28日～9月2日	29日	149
33	平成3	なつかしの八戸～和井田登寄贈作品より～	民俗	3,702	10月10日～11月17日	32日	115
34	平成3	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月15日～4月5日	18日	30
35	平成4	縄文の美・是川	考古	4,183	4月26日～5月31日	30日	139
36	平成4	八戸のイカ釣り～イカの街のルーツを探る～	民俗	3,909	7月26日～9月6日	37日	105
37	平成4	音喜多コレクション	考古	2,220	10月10日～11月15日	30日	74
38	平成4	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月14日～4月4日	19日	28
39	平成5	伝統の美～ふるさとの文化財～	歴史	4,349	7月14日～8月22日	34日	127
40	平成5	ワラと人々の暮らし	民俗	2,686	10月3日～11月7日	30日	89
41	平成5	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,236	3月13日～4月17日	30日	41
42	平成6	ミニチュアでみる世界の台所	その他	6,087	4月29日～6月5日	30日	202
43	平成6	八戸の漁撈用具	民俗	2,995	7月24日～9月4日	37日	80
44	平成6	中世の風景～よみがえる根城～	考古	7,611	9月25日～11月6日	35日	217
45	平成6	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,050	3月12日～4月9日	23日	45
46	平成7	八戸の民芸	民俗	4,121	4月29日～6月4日	30日	137
47	平成7	武人たちの魂～八戸をめぐる南部氏たち～	歴史	6,386	7月23日～9月3日	37日	172
48	平成7	新発見考古速報展	考古	7,496	9月23日～10月15日	18日	416
49	平成7	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	751	3月17日～4月7日	18日	41
50	平成8	マヤ文明の遺産展	その他	13,015	4月28日～6月2日	30日	433
51	平成8	昭和30・40年頃の暮らしと遊び	民俗	8,496	7月20日～8月25日	32日	265
52	平成8	先人たちの足跡～八戸を掘る～	考古	2,535	10月5日～11月10日	30日	84
53	平成8	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	4,202	3月16日～6月1日	62日	67
54	平成9	風張遺跡の縄文社会	考古	3,529	7月20日～8月24日	31日	113

55	平成9	今測コレクション～正太郎・せつ夫妻の世界～	歴史	6,118	9月20日～11月3日	35日	174
56	平成10	子どもの文化史～産育・教育・玩具～	民俗	6,457	7月19日～8月23日	32日	201
57	平成10	武者絵の中の英雄たち	歴史	4,391	9月20日～11月3日	37日	118
58	平成11	青い目の人形～人形から見た昭和の暮らし～	民俗	6,222	7月18日～8月29日	37日	168
59	平成11	草原の国モンゴル～遊牧民の暮らしと歴史・文化～	その他	5,432	9月25日～11月7日	37日	146
60	平成12	日本名刀展～その1000年のながれ平安時代から現代まで～	歴史	5,327	7月16日～8月27日	36日	147
61	平成12	宮廷衣装展～梨本宮家と皇族妃衣装～	その他	9,518	9月23日～11月5日	38日	250
62	平成13	八戸藩～大名の江戸と国元～	歴史	6,683	7月15日～8月26日	37日	180
63	平成13	切手～ニッポンをふりかえる～	歴史	7,990	9月23日～11月4日	37日	215
64	平成14	トイレ今昔～世界と日本のかわや事情～	その他	8,208	7月14日～8月25日	37日	221
65	平成14	江戸からくり人形展～よみがえるテクノロジー～	歴史	9,637	9月22日～11月4日	39日	247
66	平成15	八戸の俳諧	歴史	3,910	5月11日～6月8日	39日	100
67	平成15	大相撲展～八戸市博物館場所～	民俗	6,543	7月12日～8月24日	39日	167
68	平成16	樺太アイヌ民俗誌～工芸に見る技と匠～	その他	4,893	7月17日～8月29日	39日	125
69	平成16	南部氏と根城	歴史	6,237	9月25日～11月7日	39日	159
70	平成17	戦争と八戸市民～苦難とともに～	歴史	6,047	7月9日～8月21日	39日	155
71	平成17	忍者展	歴史	12,185	9月23日～11月6日	39日	312
72	平成18	吉田初三郎と八戸	歴史	6,098	7月15日～8月20日	34日	179
73	平成18	美女は生まれる～江戸美人の化粧術～	歴史	4,119	9月23日～11月5日	39日	105
74	平成19	江戸 妖怪物語	歴史	13,735	7月21日～8月26日	33日	416
75	平成19	鉄道展～地域を拓いて線路は続く～	歴史／民俗	8,961	9月22日～11月4日	39日	229
76	平成20	学校に行こう～八戸の近代教育～	歴史	4,619	7月19日～8月24日	33日	139
77	平成20	はちのへのお寺さん	歴史	6,505	8月24日～9月20日	33日	166
78	平成21	土偶展～東北の北と南～	考古	11,345	6月13日～7月26日	38日	298
79	平成21	八戸のみなと	歴史	5,177	9月19日～11月8日	47日	110
80	平成22	八戸三社大祭展	歴史/民俗	4,000	7月17日～8月29日	39日	102
81	平成22	お酒の文化史	民俗	4,874	9月18日～11月7日	45日	108
82	平成23	昭和の暮らし	民俗	4,129	7月9日～8月21日	44日	93

83	平成23	昭和の家族～絆・きずな～	民俗	5,019	11月 5日～12月18日	39日	128
84	平成24	縄文人の一生	考古	3,360	8月 8日～ 9月17日	38日	88
85	平成24	災害と八戸	歴史/民俗	3,730	10月13日～11月25日	39日	95
86	平成25	世界の鳥のおもちゃ	その他	3,783	7月 6日～ 8月25日	46日	82
87	平成25	三陸～豊かな海の歴史と民俗～	歴史/民俗	3,593	9月28日～11月10日	39日	92
88	平成26	八戸と 9 人の藩主	歴史	5,608	7月 5日～ 8月24日	47日	119
89	平成26	幕末明治の浮世絵探訪展	その他	4,016	9月27日～11月 3日	34日	118
90	平成27	かつて戦争の時代に～記憶を継承するために～	歴史	3,479	7月11日～ 8月30日	45日	77
91	平成27	八戸フード記～自然・人・食～	民俗	4,160	10月3日～11月15日	39日	106
92	平成28	かっぱ展	民俗	5,420	7月16日～ 8月21日	33日	164
93	平成28	根城のお殿様の手紙	歴史	2,637	10月8日～11月13日	32日	82
94	平成29	キレモノ～八戸市博物館所蔵刀剣資料展～	歴史	4,765	7月 8日～8月27日	47日	101
95	平成29	米～育てる・食べる・祈る～	考古/歴史/民俗	3,048	10月7日～11月12日	33日	92
96	平成30	エジソンの発明品展	その他	3,652	7月21日～ 8月26日	34日	107
97	平成30	丹後平古墳群と蝦夷の世界	考古	3,132	10月6日～11月4日	26日	120
98	令和元	八戸90年の歩み	歴史/民俗	4,337	7月13日～ 8月25日	40日	108
99	令和元	クマと生きる～資料でたどる人と熊～	考古/歴史/民俗	4,706	10月5日～11月17日	38日	123
100	令和2	飢渴の郷土史～八戸ケガジ録～	歴史	2,588	7月 4日～ 8月23日	46日	56
101	令和2	暮らしの中の手仕事	民俗	3,495	10月3日～11月23日	46日	75
102	令和3	乱世の終焉～根城南部氏と城～	考古/歴史	2,812	7月10日～ 8月29日	45日	62
103	令和3	今般廃藩之儀～最後の藩主・南部信順～	歴史	4,240	10月 8日～11月23日	46日	92
104	令和4	ナゲモノ拾いから始まった～ハマの民俗と文化財～	民俗	2,079	7月 9日～ 8月28日	45日	46
105	令和4	透明なうたかた ～ガラスびんに映った近現代～	考古/歴史/民俗	3,057	10月 8日～11月23日	39日	78
106	令和5	業良キ物～日本刀の歴史と八戸の刀工～	歴史	5,072	7月8日～8月27日	47日	108
107	令和5	J-mode 縄文の流儀	考古	3,797	10月7日～11月26日	44日	86

Ⅲ. 教育普及

1. 小中学校等団体利用状況(引率者の人数を除く)

当館では、学校の希望に合わせ、学芸員による展示解説や体験学習等を行っている。

体験学習では、火縄銃や日本刀、古銭などの歴史資料に触れる「歴史資料ハンズオン」、石臼挽きや、天秤棒を使った水汲み体験などを行う「昔のくらし」を主に行っている。

令和5年度は延べ31校1,041人が利用したが、コロナ禍前の平成30年度(市内のみ延べ41校1,757人)、令和元年度(市内のみ延べ33校、1,259人)に比べ大幅に減少している。

No.	来館日	学校・学年	人数	内容	職員
1	5.1	五戸町立上市川小6年	15	展示解説	市川
2	5.2	八戸市立長者小3、4年	135	展示解説	古里・山野・小林
3	5.30	青森県立八戸第一養護学校高等部	10	解説・体験	山野
4	6.5	八戸市立下長小4年	55	自由見学	
5	6.21	三沢市立おおぞら小6年	13	展示解説	市川
6	7.5	八戸市立豊崎中1年	3	自由見学	
7	7.7	田子町立田子小6年	34	解説・体験	古里・野沢・佐々木(和)
8	7.14	八戸市立町畑小5年	5	展示解説	小林
9	9.1	青森県立八戸第二養護学校中等部2年	28	体験学習	野沢・小林・山野
10	9.1	八戸市立明治中1年	22	展示解説	古里
11	9.14	八戸市立桔梗野小3年	37	展示解説	野沢・山野
12	9.15	八戸市立八戸小3年	46	解説・体験	古里・山野
13	9.16	八戸市立轟木小1～6年	29	解説・体験	野沢・小林
14	9.22	八戸市立旭ヶ丘小3年	60	解説・体験	古里・野沢・小林・山野
15	9.26	八戸市立町畑小3年	33	解説・体験	古里・小林
16	9.28	八戸市立明治小3年	20	解説・体験	古里・野沢・小林・在家
17	10.3	階上町立道仏小6年	12	解説・体験	山野
18	10.6	八戸市立島守小学校5、6年	16	解説・体験	山野
19	10.6	八戸工業大学第二高等学校附属中11人	9	展示解説	山野
20	10.13	階上町立道仏小3年	18	解説・体験	小林・山野
21	10.27	八戸市立白鷗小3年	32	解説・体験	野沢・小林
22	11.2	八戸市立桔梗野小5年	5	展示解説	古里
23	11.10	八戸市立根城小4年	73	解説・体験	館長・古里・山野
24	11.15	八戸市立江南小6年	18	解説・体験	山野
25	11.16	八戸市立柏崎小6年	94	解説・体験	野沢・山野

26	11.17	八戸市立新井田小 5 年	17	自由見学	
27	11.18	東北町立上北小	22	自由見学	
28	2.16	八戸市立根城小 3 年	61	解説・体験	小林・山野
29	2.16	八戸市立江陽小 6 年	35	解説	山野
30	2.28	八戸市立下長小学校 3 年	57	解説・体験	野沢・小林
31	2.29	八戸市立湊小学校 3 年	27	解説・体験	山野
延べ 31 校 1,041 人					



展示解説



体験学習「昔の暮らし」

2. その他学校等団体利用状況

生涯学習に寄与するため、様々な世代の学びの機会の提供を行っている。令和 5 年度は未就学児や高齢者大学、さらに国外の学生に見学解説を行った。

例年、冬季の「ひな人形展」の開催期間に未就学児の見学が多くなる傾向だが、令和 5 年度は 1 園に止まった。

No.	来館日	団体名	人数	内容	職員
1	5.26	根城こども園	21	自由見学	
2	7.27	六戸町教育委員会 ろくのへ探検隊	28	解説・体験	山野
3	7.28	三戸郡中学校教育研究会社会科研究会	22	解説・講話	市川
4	8.3	南部藩ゆかりの都市との交流事業 遠野市派遣団	32	解説	野沢
5	8.9	日独スポーツ少年団同時交流ドイツ団	8	解説	野沢
6	8.25	轟木保育園	33	解説	小林
7	9.8	みどり幼稚園	13	自由見学	
8	10.13	八戸市鷗盟大学 1 年	24	解説	館長・市川・山野
9	10.20	八戸市鷗盟大学 1 年	35	解説	館長・市川・野沢
10	10.22	苫小牧市ジュニアアイスホッケーチーム	24	解説	小林
11	10.26	紫波町公民館古文書教室	17	解説	山野

12	11.10	八幡平老人大学	13	解説	市川
13	2.1	盛岡大学	19	解説	山野
14	2.5	長坂保育園	26	自由見学	
15	2.6	長坂保育園	24	自由見学	
16	2.7	長坂保育園	21	自由見学	
17	2.8	長坂保育園	26	自由見学	
18	2.17	ミライフルキッズデイサービス	14	自由見学	
延べ18団体 400人					

3. 出前授業

学芸員が小中学校へ出向き、連携を図りながら講座や体験学習を行っている。令和5年度は学校の要望に応じて、多種多様な出前授業を実施した。

平成30年度4回、令和元年度3回、2年度3回、3年度4回、4年度9回、5年度20回と増加傾向である。

No.	期日	学校・学年	内容	職員
1	7.4	八戸市立北稜中1年	えんぶりの歴史・内容	古里
2	9.29	八戸市立根城小5年	稲の脱穀体験	野沢・小林・山野
3	10.17	八戸市立中居林小5年	えんぶりの歴史・内容	古里
4	10.20	八戸市立中居林小2年	えんぶりの歴史・内容	古里
5	11.7	八戸市立城北小6年	火縄銃等のハンズオン	山野・野沢
6	12.15	八戸市立吹上小3年	昔の道具の説明・体験	古里・小林・佐々木(和)
7	1.17	八戸市立中居林小3年	えんぶりの歴史・内容	古里
8	1.18	八戸市立中居林小1年	えんぶりの歴史・内容	古里
9	1.18	八戸市立中居林小2年	えんぶりの歴史・内容	古里
10	1.31	八戸市立中居林小5年	えんぶりの歴史・内容	古里
11	1.31	八戸市立桔梗野小3年	えんぶりの歴史・内容	古里
12	2.1	八戸市立中居林小4年	えんぶりの歴史・内容	古里
13	2.1	八戸市立中居林小6年	えんぶりの歴史・内容	古里
14	2.5	青森県立八戸第一養護学校小学部3年	脱穀・昔の道具体験	野沢・山野
15	2.8	八戸市立西園小3年	昔の暮らし、えんぶり	野沢・小林
16	2.15	八戸市立城北小3年	昔の道具の説明・体験	山野・淵沢

17	2.16	八戸市立島守小1～6年	えんぶりの歴史・内容	古里
18	2.20	南部町立南部小3年	土器・昔の暮らし	山野・市川
19	3.1	青森県立八戸聾学校3年	昔の道具の説明・体験	小林
20	3.1	八戸市立柏崎小3年	えんぶりの歴史・内容	古里



稲の脱穀体験



昔の道具や土器の解説

4. 浜小屋学習

博物館が管理している重要有形民俗文化財の浜小屋で、隣接する八戸市立大久喜小学校が、毎年昔のくらしの体験を行っている。大久喜法師浜漁業民俗保存会が指導役となり、水くみ体験や、昔の生活の話を聞いている。令和5年度は3回実施した。

No.	来館日	学校・学年	人数	内容
1	5.23	大久喜小学校5・6年生	8	漁撈用具について学ぶ。
2	9.7	大久喜小学校1・2年生	8	浜小屋の床を雑巾で水拭き。昔のくらしの話を聞く。
3	9.14	大久喜小学校3・4年生	11	近隣の湧水である石仏沢(イシビジャー)から浜小屋まで、天秤棒を使って水を運び、汲んだ水で浜小屋を掃除する。



浜小屋を雑巾がけ



浜小屋まで天秤棒で水を運ぶ

5. 講師等派遣

令和5年度は、市内外から13件の講師等依頼に基づき学芸員等を派遣した。

No.	期日	派遣職員	内容等	場所	主催者(依頼者)
1	5.18	古里学芸員	歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」	根岸公民館	八戸市立根岸公民館
2	7.19	古里学芸員	教員研修「島守の歴史について」	島守小学校	八戸市立島守小学校
3	7.20	小保内館長	講演「八戸の海と文化財」	八戸プラザホテル	第67回港湾都市協議会総会開催実行委員会
4	7.22	中村専門員	殿様がやって来る！ ～参勤交代と三戸～	三戸町中央公民館	三戸町教育委員会
5	7.29	小林学芸員	自主研修「八戸の食文化」	八戸市総合福祉会館	八戸市鷗盟大学2年
6	8.8	古里学芸員	歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」	石手洗生活館	石手洗町内会
7	8.26	市川学芸員	八戸の縄文文化と社会	苫小牧市美術博物館	苫小牧市美術博物館
8	9.8	古里学芸員	歴史講座「青い目の人形」	八戸市総合福祉会館	八戸市鷗盟大学
9	9.17	市川学芸員	地元の縄文再発見フェア in さんばち シンポジウム・講演会 八戸市と階上町の縄文時代	三戸町中央公民館	青森県埋蔵文化財調査センター
10	9.29	古里学芸員	ふるさと歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」	柏崎公民館	八戸市立柏崎公民館
11	11.3	古里学芸員	歴史講座「青い目の人形」	島守コミュニティセンター	島守地区自治会連合会
12	1.19	古里学芸員	あおもり県民カレッジ 三八地区地域キャンパス歴史講座「八戸えんぶりのすべて」	八戸ポータルミュージアムはっち	青森県総合社会教育センター 学び・生かすあおもりグループ
13	2.3	中村専門員	三戸南部家の野心～聖寿寺館の御殿空間に関する試論	南部町立町民ホール	南部町教育委員会

6. 催事運営

(1) 博物館クラブ・おとなの博物館クラブ

博物館や八戸の歴史や文化に親しむことを目的として、主に小中学生とその保護者を対象とした体験学習会(博物館クラブ)と、大人向けの体験講座(おとなの博物館クラブ)を実施している。近年のアンケートで、未就学児向けのイベントを希望する声が多数あることを受け、令和5年度より新たに「落ち葉であそぼ!」を追加した。



落ち葉であそぼ!

No.	開催日	講座内容	講師	対象・定員	参加人数
1	5月3日(水・祝)	かぶとのヒミツ ～戦国武将の紙かぶと作り～	山野学芸員	小学生以上 6組×2回	8
2	5月5日(金・祝)	赤ちゃん集合!～成長記念に粘土で手形・足形づくり～	山野・野沢 学芸員	0～2才程度 の乳幼児 6組×2回	35
3	6月10日(土)	草木染め～昔の人はどんな色を着ていたの?～	天内みどり氏 (外部講師)	小・中学生 10組	8
4	7月1日(土)	ガラス工作に挑戦! ～世界は○△□にあふれてる～	ガラス造形家 石橋忠三郎氏 (外部講師)	小・中学生 10組	18
5	7月15日(土)	からくり貯金箱 ～“動くってどんなこと?～	木工作家 高橋みのる氏 (外部講師)	小・中学生 10組	25
6	9月9日(土)	つるの編み方 ～“編む”っていつから?～	山野学芸員	小・中学生 10組	2
7	10月7日(土)	染色講座「紅花と紫根」	天内みどり氏 (外部講師)	高校生以上 10人	10
8	10月9日(月・祝)	宝石せっけん作り	青森県立郷土館 滝本 敦氏ほか	小・中学生 10組	20
9	11月3日(金・祝)	落ち葉であそぼ! ～みんなで作る 秋色絵巻～	山野学芸員	未就学児 10組	12
10	12月16日(土)	南部風絵に挑戦! ～秋色絵巻～	山野学芸員	親子・一般 10組	4
11	1月6日(土)	資料の取扱方法 「古文書・古典籍」	野沢・山野 学芸員	高校生以上 10人	1
12	2月24日(土)	貝びな作り～ハマグリのおひなさまを飾ろう～	山野学芸員	親子・一般 10組	16
計					159人

(2)市民のための歴史講座(博図連携事業)

市民への生涯学習の機会を提供するため、博物館及び図書館で共通のテーマによる歴史講座を実施している。連携2年目となる令和5年度は「八戸は海と共にある」をテーマに、4回実施した。各回定員50人。会場は前半2回がYSアリーナ大会議室、後半2回が八戸市博物館講義室。

No.	開催日	演題	講師	参加人数
1	6月25日(日)	クジラー鯨と人の関わりー	八戸市教育委員会社会教育課 副参事 杉山 陽亮氏	35
2	7月23日(日)	盛岡領における海の玄関 野辺地湊ーその歴史と課題ー	野辺地町歴史を語る会 会長 鈴木 幹人氏	44
3	10月21日(土)	縄文人は海を越えたか？	同志社大学文学部 教授 水ノ江 和同氏	39
4	1月13日(土)	八戸の海と文化財	当館 館長 小保内 裕之	54
計				172人

(3)八戸城下めぐり

現在の八戸市中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐり、郷土の歴史・文化に親しむ機会とするため実施している。各回定員15名。



No.	開催日	ルート	講師	参加人数
1	5月20日(土)	【入門編】 三八城公園(八戸城跡)～おがみ神社～角御殿表門～明治天皇行在所跡～札の辻～天聖寺～堤町～神明宮	野沢・山野学芸員	4
2	10月14日(土)	【城内編】 角御殿表門～江渡旅館跡～木戸～河内屋～八戸城東門～おがみ神社～三八城公園(八戸城跡)	野沢・山野学芸員 船場昌子学芸員 (是川縄文館)	7

(4)体験学習会「寺子屋はちはく」

子どもたちが積極的に博物館を利用し、学習へ活用するきっかけとして、夏休み期間中に個人向けの体験学習を実施している。

実施期間：令和5年7月25日～8月10日(休館日を除く平日)

定員：1日2組 参加人数：延べ16人

体験メニュー：①むかしのくらし(40分)、②根城攻略体験 (60分)
③日本刀のヒミツ(40分)、④火縄銃のヒミツ(40分)
⑤縄文土器のナゾ(40分)、⑥博物館のミカタ(40分)

(5)現地公開「漁撈用具と浜小屋」

国指定重要有形民俗文化財「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」のうち、大久喜地区に立地する浜小屋及び八戸市立民俗収蔵庫は通常非公開としているが、当資料の文化財的価値の周知を図るため、一般公開を実施した。

漁具に興味関心の高い来場者が多く、市内のほか久慈市や三沢市、遠くは神奈川県からの来場者もあった。古い漁具を見て記憶が喚起された来場者から、様々な話を聞くことができた。反省点としては、暑い時期と大雨が多いため、9月は開催には不向きな季節であったことが挙げられる。



No.	開催日	従事職員	参加人数
1	9月2日(土)	古里・小林学芸員、 佐々木事務員	0人(雨天)
2	9月16日(土)	古里・小林学芸員、 佐々木事務員	30人

(6)小中学生のための城歩き「お城へ行こう！」

小中学生を対象に、学芸員が根城跡・三戸城跡をくわしく案内して、歴史や当時の暮らしを学ぶ。当館と三戸町教育委員会が共同で開催している。

No.	開催日	講座内容	主催・共催	定員	参加人数
1	7月9日(日)	in 三戸城 ～石の城を歩く～	主催：三戸町教育委員会 共催：八戸市博物館	20組	13組33人
2	7月23日(日)	in 八戸城 ～土の城を歩く～	主催：八戸市博物館 共催：三戸町教育委員会	20組	9組21人

(7)八戸市博物館開館40年記念シンポジウム『根城・再考Ⅲ』

史跡根城跡の発掘調査とこれに続く整備事業の実施からおよそ30年が経ち、その間に根城の
に関する文献調査や、遺構遺物の再検討が行われ、多くの発見が得られている。本シンポジウム
は、調査研究の成果から特に中世における根城南部家のくらしぶりに焦点を当て、教育史、正月
行事、食事、儀礼の視点から研究報告と討論を行い、市民に向けて最新情報の発信を行った。

期 日：令和5年10月28日(土)

会 場：八戸市総合福祉会館(八戸市根城八丁目8-39)

主 催：八戸市博物館

テーマ：中世根城南部家の一年

参加者：61人

開催日	発表者	演題
開催趣旨説明	八戸市博物館主査兼学芸員 市川 健夫	
研究報告 1	八戸市文化財審議委員 熊谷 隆次氏	根城南部家と連歌 ～中世教育史との関わりから～
研究報告 2	八戸市立図書館主査兼学芸員 滝尻 侑貴氏	根城南部家の正月 ～列座にみる家臣団構成～
研究報告 3	八戸市教育委員会社会教育課副参事 杉山 陽亮氏	根城では何を食べていたか ～出土遺物を中心に～
研究報告 4	八戸市博物館史跡根城整備専門員 中村 隼人	根城本丸の表御殿
公開討論	司会：八戸市文化財審議委員 工藤 竹久氏	ここまでわかった中世根城南部家 の一年

7. その他教育普及活動

(1) 博物館実習

令和5年度は、弘前学院大学、筑波大学、法政大学、東洋大学の4人の実習生を受け入れた。
実施内容とスケジュールは以下のとおり。

No.	期日	講師	実習内容
1	8月17日(土)	全職員	開校式・ガイダンス
		実習担当	施設見学(博物館・根城跡・南郷資料館等)
2	8月18日(金)	館長	館長講話
		特別展担当	展示活用について
		実習担当	課題説明
		歴史部門	学芸員講話・歴史資料の取り扱い
3	8月19日(土)	是川縄文館	是川遺跡クリーンデー、これかわ縄文まつり準備
4	8月20日(日)	是川縄文館	これかわ縄文まつり従事
5	8月22日(火)	考古部門	学芸員講話 考古資料の保存と管理・考古資料の取扱い
		民俗部門	学芸員講話・写真資料目録作成の実務
6	8月23日(水)	民俗部門	写真資料目録作成の実務
		考古部門	史跡整備について
7	8月24日(木)	歴史部門	歴史資料の取扱い
		実習担当	課題発表
		全職員	閉校式

(2) 職場体験

令和5年度は、市内1校から問い合わせがあったが、学校側の実施希望日との調整が叶わず、実施しなかった。

(3) インターンシップ

令和5年度は、申し込みがなかったため実施しなかった。

8. 広報・出版活動

(1) 情報発信

ポスターやチラシの配布、マスメディアや広報はちのへの定期的な情報発信、さらに八戸市博物館ホームページやX(旧ツイッター)、フェイスブックを用いて行っている。

Xでは、主に展示会や催事の案内、所蔵資料やミュージアムグッズの紹介、史跡根城の広場の様子などを週に複数回投稿している。Facebookでは、展示会や催事の案内を随時行っているほか、史跡根城の広場でみられる季節の草花を月毎にアルバムで紹介している。

根城の広場のアカウントでは、日本100名城や御城印に関連する情報発信、南部氏ゆかりの城館と連携した「南部お城めぐり」プロジェクトに関する案内などを投稿している。

(2) 出版活動

当館が令和5年度の出版した刊行物は以下のとおりである。

名 称	規格	部数	発行年月日
八戸市博物館収蔵資料選集 日本刀	A4 判, 58P, カラー	500 部	2023. 7. 8
八戸市博物館開館 40 年記念シンポジウム記録集 『根城・再考Ⅲ 中世根城南部家の一年』	A4 判, 48P, 白黒	500 部	2023.10.28
八戸市博物館開館 40 年記念秋季特別展 『J-mode 縄文の流儀』	A4 判, 106P, カラー	800 部	2023.11. 9
博物館だより No.63	A3,二つ折 A4 判,白黒	750 部	2023.12. 1
八戸市博物館開館 40 年記念シンポジウム記録集 『根城・再考Ⅲ 中世根城南部家の一年』	A4 判, 44P, 白黒	500 部	2024. 3.15
博物館だより No.64	A3,二つ折 A4 判,白黒	750 部	2024. 3.31
研究紀要 第 37 号	A4 判, 96P, 白黒	300 部	2024. 3.31

【販売出版物一覧】(令和6年3月31日時点)

図録名	規格	価格	発行年月日
掘り起こされた南部氏の居城－根城－	B5 判, 77P, カラー	1,000 円	1989. 3.31
東日本の小絵馬－ねがいと祈りの板絵－	B5 判, 62P, 白黒	500 円	1985. 7.28
東北の土人形	B5 判, 66P, 白黒	500 円	1986. 7.27
八戸俳諧のあゆみ	B5 判, 34P, 白黒	200 円	1989. 6.10
なつかしの八戸－和井田登寄贈作品より－	A4 判, 2	2,000 円	1991.10.10
八戸のイカ釣	B5 判, 36P, 白黒	500 円	1992. 7.26
音喜多コレクション目録	B5 判, 96P, 白黒	500 円	1992.11.30

伝統の美－ふるさとの文化財－	B5 判, 56P, カラー	500 円	1993. 7.14
八戸の民芸	B5 判, 18P, カラー	500 円	1995. 4.29
今測コレクション－正太郎・せつ夫妻の世界－	B5 判, 32P, 白黒	500 円	1997. 9.20
子どもの文化史－産育・育児・教育－	A4 判, 27P, カラー	500 円	1998. 7.19
武者絵物語－武者絵の中の英雄たち－	A5 判, 40P, 2 色	100 円	1998. 9.17
青い目の人形	A4 判, 34P, カラー	500 円	1999. 7.18
八戸藩－大名の江戸と国元－	A4 判, 72P, カラー	1,200 円	2001. 7.14
八戸の俳諧	A4 判,104P,カラー/白黒	2,000 円	2003. 3.31
大相撲展	A4 判, 58P, カラー	500 円	2003. 7. 4
南部氏と根城	A4 判, 72P,カラー/白黒	2,000 円	2004. 9.22
戦争と八戸市民－苦難とともに－	A4 判, 50P, カラー	800 円	2005. 7. 9
吉田初三郎と八戸	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2006. 7.15
災害と八戸	A4 判, 40P, カラー	700 円	2012.10. 5
三陸－豊かな海の歴史と民俗－	A4 判, 56P, 白黒	1,000 円	2013. 9.28
八戸と 9 人の藩主	A5 判,72P,カラー/白黒	1,000 円	2014. 6.30
八戸フード記－自然・人・食－	A4 判,88P, カラー/白黒	1,000 円	2015.10. 3
絵本 根城の歴史	A4 判, 24P, カラー	500 円	2016.10. 8
八のへの米	A4 判, 16P, カラー	500 円	2017.10. 7
八戸の古代	B5 判,44P,カラー/白黒	800 円	1991.8.31(初 版) 2018.5.30(第 2 版)
エジソンコレクションガイド	A5 判, 42P, カラー	100 円	2018. 7.21
なつかしの八戸Ⅱ－和井田登寄贈作品より－	A4 判, 82P, 白黒	1,000 円	2020. 2.14
飢渴の郷土史－八戸ケガジ録－	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2020. 7. 4
今般廃藩之儀－最後の藩主・南部信順－	A4 判, 14P, カラー	300 円	2021. 9.30
乱世の終焉－根城南部氏と城－	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2021.11.15
報告書「八戸沿岸の漁撈習俗」改訂再版	B5 判, 127P, カラー	1,000 円	2022. 7. 9
日本刀	A4 判, 58P, カラー	800 円	2023. 7. 8
J-mode 縄文の流儀	A4 判, 106P, カラー	2000 円	2023.11. 9

Ⅳ. 資料管理

1. 部門別収蔵資料点数(令和6年3月31日現在)

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和5年度	3,299	350	307	3,956
総点数	18,581	16,438	50,270	85,289

2. 令和5年度寄贈資料(令和6年3月31日現在)

当館では、八戸の歴史や文化を示す資料を収集・保存するため、随時寄贈を受け入れている。

資料名	点数	寄贈者(敬称略)	寄贈年月日
《考古資料》			
縄文土器破片(長七谷地遺跡・熊ノ沢遺跡・和野前山遺跡・蒼前下遺跡)	194	駒目 タケ	八戸市 5.4.20
小久慈焼 陶器、窯道具(岩手県久慈市)	145	杉本 旭	八戸市 5.4.25
陶器、瓦、窯道具(蟹沢窯跡)、縄文土器破片・貝類等(松館遺跡)	1,801	鈴木 克彦	青森市 5.5.31
土師器・須恵器破片(根城跡)	1,159	川口 祐二	八戸市 5.12.3
《歴史資料》			
県重宝 蒔絵漆器類ほか	320	杉本 旭	八戸市 5.4.25
南部家関係資料	20	杉本 安俊	八戸市 5.4.26
甲冑(福士重光コレクション追加分)	8	福士 リセ	八戸市 5.5.17
刀 銘「於江府精壯斎宗重作／慶應元年八月日」(附 黒塗鞘打刀拵)	2	柏木 勝夫	三沢市 5.9.13
《民俗資料》			
自転車車輪リムヨレ取り器	2	亀橋 秀雄	八戸市 5.4.1
カメラ	1	上村 良勝	八戸市 5.4.1
手平鉦	1	富岡 朋尚	八戸市 5.4.1
菱刺し、バオリ、刺子綴など	42	西野 慶吉	八戸市 5.4.1
宮大工道具及び儀式用工匠用具	111	三浦 堅作	八戸市 5.11.5
オシラサマー式	1	風張 イシ	八戸市 5.11.23
煎餅型、南部風絵など	149	佐々木 秀一	八戸市 5.12.27

3. 所蔵資料指定文化財一覧(令和6年4月8日現在)

当館では下記の指定文化財を所蔵しており、適正な管理に努めている。

No.	区分	種別	名称	員数	指定年月日
1	国重要文化財	考古	青森県丹後平古墳群出土品	195 点	H30.10.31
2	国重要文化財	考古	青森県櫛引遺跡出土品	83 点	R 5 . 6 .27
3	国重要有形民俗文化財		八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋	1,383 点 1 棟	H 5 . 4 .15
4	国史跡		根城跡	18,5 m ²	S16.12.13 H23. 2 . 7
5	県重宝	建造物	八戸城角御殿表門 附棟札・毘沙門天像	3 枚 1 軀	S56. 4 .18
6	県重宝	工芸	日本刀 銘 奥観寿藤原吉廣	1 口	S43. 4 . 5
7	県重宝	工芸	菊牡丹唐草轡十字紋蒔絵漆器	13 点	H18. 2 . 1
8	県重宝	工芸	唐草南部鶴紋蒔絵漆器	12 点	H18. 4 .19
9	県重宝	工芸	南部鶴紋蒔絵漆器	7 点	H18. 4 .19
10	県重宝	歴史資料	湊家文書	11 通	S47. 4 . 6
11	県重宝	考古資料	縄文式甕形土器	1 個	S31. 5 .14
12	県重宝	考古	鹿島沢古墳群出土品(一括)	63 点	H14. 4 .17 R 6 . 4 . 8
13	市有形文化財	建造物	旧八戸城東門	1 棟	H 5 . 6 . 3
14	市有形文化財	工芸	日本刀 銘 精壮齋宗有	1 口	S61. 2 .21
15	市有形文化財	書籍・典籍・古文書	諸国神社仏閣掛所算術	1 冊	H14. 1 .24
16	市有形文化財	歴史資料	和算用算木	1 組	S48. 1 .24
17	市有形文化財	歴史資料	鬼瓦	3 個 1 式	H 5 . 6 . 3
18	市有形民俗文化財		神巧皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)	2 体 1 枚	H15. 7 .29
19	市有形民俗文化財		為朝と嶋人(人形、雛形)	3 体 1 枚	H15. 7 .29

4. 収蔵資料保存修理

(1) 重要文化財保存修理事業

- ・重要文化財丹後平古墳群出土品保存処理

平成30年に重要文化財に指定された「青森県丹後平古墳群出土品」195点の中には、刀や鍔などの脆弱な金属製品が多く含まれている。サビにより形状が変化しやすく、経過観察と適切な保存修理を継続して行う必要があるため、令和元年度から国庫補助を得て保存修理事業に着手している。令和6年度は鉄刀2点、鉄鍔10点、玉類10点の計20点の保存修理を業務委託で行った。



保存修理を行った鉄刀

(2) 歴史・民俗資料保存処理

- ・山車人形(為朝)頭 一式
- ・絵図面補修等作業

「上長苗代村耕地整理地区確定図其の三」「御領内海岸通絵図」「南部領郡村全図」各1枚

- ・刀剣研磨等作業

刀(無銘)、脇差「肥前國忠吉」、短刀(無銘)、槍「山城守国重」各1点

5. 保存環境の維持管理

(1) 燻蒸

委託先：イカリ消毒株式会社八戸営業所

資料燻蒸：①令和5年5月24日(水)～6月2日(金)／歴史資料

②令和5年10月31日(火)～11月5日(日)／歴史資料

③令和5年11月16日(木)～11月23日(木)／歴史資料

④令和6年2月1日(木)～2月7日(水)／民俗資料

全館燻蒸：令和5年12月25日(月)～26日(火)／展示室・収蔵庫・講義室・倉庫

(2) 昆虫相生息調査

期間：令和5年4月～令和6年3月末

委託先：イカリ消毒株式会社八戸営業所

実施場所：八戸市博物館、旧八戸市立中野小学校(収蔵庫として使用)

業務：①トラップの設置(年12回、1か月ごとに害虫発生状況の報告書を提出)

②館内侵入防除の提案

(3) 浜小屋管理

期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

委 託 先：大久喜法師浜漁業民俗保存会(会長 高橋 信行)

実施場所：八戸市立民俗収蔵庫及び浜小屋(八戸市大字鮫町字大作平 44)

業 務：①収蔵庫、及び浜小屋(重要有形民俗文化財)の清掃作業

②浜小屋の茅葺屋根の防虫・防腐・殺菌するための燻し作業

③草刈り・植栽管理

④施設の保全

⑤火災・盗難防止

実 績：清掃9回、燻し作業13回、草刈り7回、案内板ペンキ塗り替え1回、消防訓練1回

6. 資料の利用状況

(1) 写真資料(映像・図版含む)

No.	申請者	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館	湊家文書	2	写真撮影・複製品作成・展示	5.4.13	特別展「朝倉義景の一生」、常設展
2	NHK 大阪放送局	南部家文書	1	写真データ貸与・放映	5.4.19	NHK 番組「歴史探偵」
3	(株)クリエイティブネクサス	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・放映	5.4.28	NHK BSP「ガイロク」
4	(株)テレビジョンフィールド	八戸南部家旧蔵博物標本資料	5	写真データ貸与・放映	5.4.29	BS 松竹東急「号外！日本史スクープ砲」
5	協同組合八戸管工事協会	十勝沖地震写真	2	写真データ貸与・放映	5.5.1	(協)八戸管工事協会青年部会40周年記念式典
6	NHK 出版すてきにハンドメイド編集部	南部菱刺し	4	写真撮影・掲載	5.5.7	NHK 出版『すてきにハンドメイド9月号』
7	八戸市社会教育課	和井田登撮影写真	2	写真データ貸与・掲載	5.5.17	「八戸発見ブック 世界の宝！ 八戸三社大祭」
8	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品、櫛引遺跡出土品	2	写真データ貸与・掲載	5.5.17	高校生向け模試教材
9	苫小牧市美術博物館	田面木平遺跡出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.5.17	特別展「縄文≡現代」印刷物、広報物
10	月刊誌「歴史人」編集部	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.5.18	『歴史人』7月号
11	平田 英司	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.5.25	縄文時代について紹介するYoutube 動画
12	(株)ビーエフエム	校歌音声データ	13	音声データ貸与・放送	5.5.30	ラジオ番組「Oh! My 学校放送局」
13	長野 栄俊	「尾彦」の図	1	写真データ貸与・掲載	5.6.2	『予言獣大図鑑(仮)』
14	佐々木 勝彦	口宣案	4	写真データ貸与・掲載	5.6.5	『岩手に始まる八戸藩』
15	三内丸山遺跡センター	漆塗り土器	1	写真データ貸与・掲載	5.6.20	特別展「三内丸山と漆」

16	こなつの会	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.6.23	朗読劇「夏の雲は忘れない」
17	Virtualion(株)	八戸南部家旧蔵博物標本資料 双頭の人魚(ミイラ)	1	写真データ貸与・展示	5.6.28	バーチャルミュージアムプロジェクトおよび関連する研究
18	駿台予備学校	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.6.21	授業の素材
19	八戸市美術館	博物館外観、常設展示室、根城の広場	一式	映像撮影・放映	5.6.24	はちとまネットワーク文化施設 PR 動画 Youtube
20	岡安 雅彦	根城跡出土品ほか	14	写真撮影・掲載	5.7.5	『日本における覆い焼きの成立と展開(仮題)』
21	(株)オクタゴン	和井田登撮影写真	11	写真データ貸与・放送	5.7.7	フジテレビ「潜在能力テスト」
22	国立アイヌ民族博物館	丹後平古墳群出土品	6	写真撮影・掲載	5.7.28	特別展「考古学と歴史学からみるアイヌ史-19 世紀までの軌跡-
23	(株)金入	長七谷地貝塚貝塚断面	1	写真データ貸与・製作	5.8.1	アクリル商品
24	(株)ファミリーマガジン	八戸南部家旧蔵博物標本資料双頭の人魚(ミイラ)	1	写真データ貸与・掲載	5.8.9	『別冊宝島 日本の妖怪』
25	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.8.9	小学生向け通信教育教材
26	是川縄文館	根城跡出土品	3	写真データ貸与・展示	5.9.5	第 8 回最新研究報告「新田城跡の発掘調査」展示
27	青森県埋蔵文化財調査センター	櫛引 遺跡出土品ほか	2	写真データ貸与・掲載	5.9.6	「あおもり縄文カード」
28	八戸市観光課	吉田初三郎画「明治天皇肖像」	1	写真データ貸与・展示	5.9.18	吉田初三郎パネル展
29	Person Education	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.9.14	出版物『Art History』
30	駿台予備学校	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.9.20	授業教材
31	Person Education	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.9.20	出版物『洋野町パネル展
32	富士フィルム BI 福井株式会社	湊家文書	1	複製品のサンプル出品	5.9.28	ふくい IT フォーラム 2023
33	鷗盟大学 2 年 C 班	和井田登撮影写真	51	写真データ貸与・掲載	5.9.26	論文
34	是川縄文館	唐草南部鶴紋時絵香道具	1	写真データ貸与・展示	5.10.3	企画展「掘り day はちのへ」
35	(株)DNP プランニングネットワーク	根城御城印	1	音声データ貸与・掲載	5.11.10	JTB クルーズ発行旅行パンフレット
36	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.11.15	連載「思い出の繁華街」
37	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	5.11.22	『中学入試実践テキスト』ほか
38	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.11.30	連載「思い出の繁華街」
39	(株)岩手朝日テレビ	歴史展示室	1	動画撮影・放映	5.12.1	「天津木村のへえ～」
40	中園 裕	和井田登撮影写真	457	写真データ貸与	5.12.2	デーリー東北新聞社連載執筆のための調査

41	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.12.9	連載「思い出の繁華街」
42	中園 裕	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.12.13	「県民にやさしい青森県史」その46
43	滝尻 善英	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.12.13	東奥日報「深掘り八戸小唄 90 周年レコード化」
44	(有)グラフ青森	博物館・根城の広場	4	写真データ貸与・掲載	5.12.19	「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」公式ガイドブック
45	八戸市社会教育課	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	5.12.19	文化財説明版「浜須賀・汐越旧景」
46	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ転載	5.12.26	『チャレンジ6年生』
47	富田 園子	縄文犬の復原模型	1	写真データ貸与・掲載	6.1.5	『教養としての犬』
48	八戸市まちづくり推進課	和井田登撮影写真	10	写真データ貸与・掲載	6.1.18	「中心市街地活性化基本計画概要版」及び「ストリートデザインビジョン」
49	府中市美術館	吉田初三郎画「明治天皇肖像」	1	写真データ貸与・掲載	6.1.25	企画展「吉田初三郎の世界」
50	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.1.28	連載「思い出の繁華街」
51	NPO 法人 いちのへ文化・芸術 NPO	長七谷地貝塚	1	写真データ貸与・掲載	6.1.30	『御所野物語(仮称)』
52	(株)エデュコン	八戸藩知事辞令	1	写真データ貸与・掲載	6.2.1	霞会館 150 周年史
53	(株)ホリプロ	えんぶり展	一式	動画撮影・放映	6.2.2	BS 朝日「そこにあるもの。」
54	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.2.25	連載「思い出の繁華街」
55	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ転載	6.3.4	小学生向け通信教育教材
56	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品ほか	2	写真データ転載	6.3.4	小学生向け通信教育教材
57	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	2	写真データ貸与・掲載	6.3.10	連載「思い出の繁華街」
58	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.3.29	連載「思い出の繁華街」

(2)実物資料の貸出し

No.	申請者	資料名	点数	利用法	展示(使用)期間
1	東北歴史博物館	湯浅屋新田ほか	5	常設展示	5.4.1～6.3.31
2	宇部 則保	殿見遺跡出土品ほか	4	観察・写真撮影	5.4.13～5.4.22
3	史跡根城の広場	近世の打掛(実物)	1	根城さくらまつり	5.4.23
4	青森県立八戸第一養護学校	縄文土器ほか	一式	授業で使用	5.5.25～5.5.26

5	苫小牧市美術博物館	丹後谷地遺跡出土品 ほか	9	特別展「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」	5.7.1～5.9.30
6	村田町歴史みらい館	三峯山神社御神体ほか	7	企画展「牙を剥けー東北地方の狼信仰ー」	5.7.7～5.10.9
7	三内丸山遺跡センター	漆塗り土器	1	特別展「三内丸山と漆」	5.7.21～5.9.18
8	北海道博物館	長七谷地貝塚出土品	10	特別展「ユネスコ世界遺産登録記念 北の縄文世界と国宝」	5.7.22～5.10.1
9	国立アイヌ民族博物館	丹後平古墳群出土品	3	特別展「考古学と歴史学からみるアイヌ史展ー19世紀までの軌跡」	5.9.16～5.11.19
10	是川縄文館	鬼瓦	一式	企画展「掘り dey はちのへー令和元～令和4年度発掘資料展」	5.10.7～5.11.26

(3) 資料調査ほか

No.	申請者	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	大阪大学総合学術博物館 (伊藤 謙)	南部家旧蔵博物標本 資料	一式	観察・写真撮影	5.4.3	研究(科研)
2	成田 滋彦	丹後谷地遺跡、田面 木平遺跡出土品	7	観察・写真撮影	5.4.7	研究
3	宇部 則保	岩ノ沢平遺跡出土品	1	観察・写真撮影	5.4.9	研究
4	南部菱刺しの会	南部菱刺し	一式	観察	5.4.28	研究
5	三内丸山遺跡センター	是川法体遺跡出土品	1	写真撮影	5.5.12	特別展「三内丸山 と漆」
6	藤本 健信	三社大祭写真	1	閲覧・写真撮影	5.6.2	研究
7	児玉 大成	丹後谷地遺跡出土品 ほか	12	観察・写真撮影	5.6.4	研究
8	是川縄文館	鬼瓦	一式	観察・写真撮影	5.6.6	企画展に伴う資料 調査
9	村田町歴史みらい館	三峯山神社御神体ほ か	7	実測・写真撮影	5.6.13	企画展に伴う資料 調査
10	八戸工業大学 建築・土木 工学コース	浜小屋	1	実測・写真撮影	5.6.27	授業の実習
11	齋藤 岳	八戸市日計の有舌尖 頭器(音喜多コレクション)	1	観察・図化・写 真撮影	5.7.16	資料紹介
12	(株)岩沢測量コンサル	絵図面、野帳	2	閲覧、写真撮影	5.7.20	調査
13	八戸藩御家流加賀美流流 鎗馬再興会	加賀美流墓目之巻ほ か	2	写真撮影	5.8.8	研究
14	八戸藩御家流加賀美流流 鎗馬再興会	加賀美流流鎗馬卷子 ほか	3	写真撮影	5.8.14	研究ほか
15	宮代 栄一	丹後平古墳群出土品	2	実測・写真撮影	5.8.22	論文

16	横須賀市自然・人文博物館	八戸及び周辺地域の漁撈用具	20	実測・写真撮影・資料情報閲覧	5.9.12	研究
17	鷗盟大学2年C班	和井田登撮影写真	一式	閲覧	5.9.13	研究
18	千葉県立中央博物館	八戸及び周辺地域の漁撈用具	4	閲覧・写真撮影	5.9.21	特別展「大漁をまとう」
19	児玉 大成	薬師前遺跡出土品ほか	6	観察・写真撮影	5.9.26	研究
20	山田 洋一	西町屋文書	6	閲覧・写真撮影	5.10.5	研究
21	千田 優	丹後平古墳群出土品ほか	20	実測・写真撮影	5.10.11~12	論文
22	熊谷 龍之介	一王寺遺跡出土品	9	実測・写真撮影	5.10.12	論文
23	府中市美術館	吉田初三郎画「明治天皇肖像」	1	閲覧・写真撮影	5.10.12	企画展「吉田初三郎の世界」
24	遠野市民センター文化課市史編さん室	鶴田馨一寄贈資料	一式	閲覧・写真撮影	5.10.21	『新編遠野市史』編纂に係る調査研究
25	北海道博物館	史跡根城跡出土品	30	観察・写真撮影	5.11.25	研究
26	永瀬 史人	薬師前遺跡出土品	3	写真撮影	5.11.27	3D フォトグラメトリ作成
27	中園 裕	和井田登撮影写真	一式	閲覧	5.11.10	研究
28	松戸市博物館	田面木平(1)遺跡出土品ほか	13	閲覧・フォトグラメトリによる3次元計測	5.11.25	令和6年度企画展
29	北部産業(株)	教科書「三年生の理科」ほか	2	閲覧・写真撮影	5.12.9	職場見学の解説書
30	弘前大学人文社会学部	泉山コレクション是川一王寺遺跡出土骨角器	22	実測・写真撮影	6.1.17~19	論文
31	東北歴史博物館	櫛引遺跡出土品ほか	9	実測・写真撮影	6.1.12	特別展「世界遺産北の縄文人」
32	土地家屋調査士法人たいよう総合事務所	絵図面	1	閲覧・写真撮影	6.1.10	調査
33	八戸市まちづくり推進課	和井田登撮影写真	一式	閲覧	6.1.10	中心市街地活性化コンセプトブック
34	八戸市道路維持課	絵図面	1	閲覧・写真撮影	6.1.17	調査
35	南部町教育委員会	根城跡出土サイコロ	1	観察・写真撮影	6.1.24	調査
36	山田 友子	南部菱刺し	一式	観察・写真撮影	6.2.11	調査
37	平尾 正之	ガマハバキ	1	観察・写真撮影	6.2.16	調査
38	青森県観光経済課	南部菱刺し	一式	観察・写真撮影	6.2.18	調査
39	関 晃子	石堂えんぶり組関係資料	一式	観察・写真撮影	6.2.24	調査

V. 調査研究

1. 調査実績

博物館活動の基礎となる資料充実及び展覧会準備のため、日常的に調査研究活動や資料整理等を行っている。主な調査実績は以下のとおり。

No.	日程	調査内容	調査地	職員
1	5.4.14	寄贈に係る資料調査(福士重光コレクション)	八戸市類家	野沢・山野
2	5.4.20	寄贈に係る資料調査	八戸市金吹沢	古里・野沢・山野
3	5.4.28 ～11.21(内6回)	寄贈に係る資料調査(宮大工道具及び工匠用具)	五戸町豊間内	小林
4	5.5.11	令和5年度夏季特別展に係る資料調査	三沢市先人記念館ほか	山野・野沢
5	5.5.24	令和5年度夏季特別展に係る資料調査	一関市博物館	山野
6	5.5.31	寄贈に係る資料調査	新郷村	市川・古里
7	5.6.5	令和5年度夏季特別展に係る資料調査	三沢市六川目団体活動センター	野沢・山野
8	5.6.7	寄贈に係る資料調査	市川町字尻引	野沢・山野
9	5.6.9 ～7.31(内3回)	寄贈に係る資料調査(商家資料)	八戸市新井田字坂	小林
10	5.7.6	令和5年度秋季特別展に係る資料調査	青森県立郷土館	市川
11	5.7.12	令和5年度秋季特別展に係る資料調査	青森県埋蔵文化財調査センター	市川
12	5.7.16	寄贈に係る資料調査(オシラサマ)	八戸市鮫町字種差	小林
13	5.7.19～21	令和5年度秋季特別展に係る資料調査	是川縄文館	小林
14	5.7.25	博物館リニューアルに係る視察	静岡市歴史博物館	館長・小林
15	5.8.2	令和5年度秋季特別展に係る資料調査	八戸市美術館	館長・市川
16	5.8.9	史跡根城跡第2次整備事業に係る調査	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館	市川・中村
17	5.8.24	企画展「八戸の災害」に係る写真撮影	八戸市館鼻公園	小林
18	5.8.31	博物館リニューアルに係る視察	陸前高田市立博物館	館長・山野・淵沢
19	5.10.8	収蔵方法に係る調査	三沢市六川目団体活動センター	小林・佐々木(和)
20	5.12.3	寄贈に係る資料調査	八戸市根城	市川
21	5.11.9、 5.12.5	令和6年度新収蔵資料展に係る調査撮影	七戸町金剛寺 おいらせ町氣比神社 八戸市中心月院	小林
22	6.1.17	寄贈に係る資料調査(三春屋)	八戸市番町	山野

23	6.1.25	企画展「えんぶり展」に係る資料撮影	八戸市立図書館	小林
24	6.2.14	令和6年度秋季特別展に係る資料調査	八戸市立図書館	野沢
25	6.3.1	圓子家文書調査	五戸町	野沢・山野
26	6.3.1	寄贈に係る資料調査(足踏み式ミシン、カメラ等)	八戸市売市	小林
27	6.3.13 ～3.14	令和6年度秋季特別展に係る資料調査	もりおか歴史文化館 岩手県立図書館 盛岡市先人記念館	野沢・山野
28	6.3.22～23	博物館リニューアルに係る視察	国立アイヌ民族博物館	館長・市川
29	6.3.27	寄贈に係る資料調査(南部家資料等)	八戸市番町	館長・野沢・ 山野

2. 職員の調査研究活動

小保内 裕之(館長・考古学)

【執筆活動】

- 『八戸市博物館開館40年記念秋季特別展示図録 J-mode 縄文の流儀』(令和5年11月9日発行)共著

【研究発表・講座・講演など】

- 講演「八戸の海と文化財」 於：第67回港湾都市協議会総会(令和5年7月20日)
- 講座「八戸の海と文化財」 於：八戸市博物館・図書館連携事業“市民のための歴史講座”テーマ「八戸は海と共にある」(令和6年1月13日)

【他機関からの委嘱】

- 青森県立郷土館協議会委員

古里 淳(主幹・民俗学)

【研究発表・講座・講演など】

- 根岸公民館歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」(令和5年5月18日)
- 北稜中学校1年生総合的な学習「えんぶりについて」(令和5年7月4日)
- 島守小学校教員研修「島守の歴史」(令和5年7月19日)
- 石手洗シニアクラブ歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」(令和5年8月8日)
- 鷗盟大学「青い目の人形」(令和5年9月8日)
- 柏崎公民館ふるさとの歴史講座「写真で見るなつかしの八戸」(令和5年9月29日)
- 中居林小学校5年生総合的な学習「えんぶりについて」(令和5年10月17日)
- 中居林小学校2年生生活科「えんぶりについて」(令和5年10月20日)
- 島守弁に触れる会「青い目の人形」(令和5年11月3日)
- 中居林小学校3年生総合的な学習「えんぶりについて」(令和6年1月17日)
- 中居林小学校1・2年生生活科「えんぶりについて」(令和6年1月18日)
- 青森県民カレッジ「八戸えんぶりのすべて」(令和6年1月19日)

- ・桔梗野小学校3年生「えんぶりについて」(令和6年1月31日)
- ・中居林小学校5年生総合的な学習「えんぶりについて」(令和6年1月31日)
- ・中居林小学校4・6年生総合的な学習「えんぶりについて」(令和6年2月1日)

【他機関からの委嘱】

- ・八戸市立中居林小学校非常勤講師

市川 健夫(主査兼学芸員・考古学)

【執筆活動】

- ・「八戸市と階上町の縄文時代」『地元の縄文再発見フェア in さんばち 資料』青森県埋蔵文化財調査センター(令和5年9月16日発行)
- ・『八戸市博物館開館40年記念秋季特別展示図録 J-mode 縄文の流儀』(令和5年11月9日発行)共著
- ・「資料紹介 青森県櫛引遺跡出土品」『八戸市博物館だより』65(令和5年12月1日発行)
- ・「縄文時代の十和田火山噴火災害」『列島の人々は火山災害にどのように向き合ってきたのか 火山災害考古学から今を考える』株式会社山川出版社(令和6年1月10日発行)
- ・「趣旨説明」『八戸市博物館開館40年記念シンポジウム 根城・再考Ⅲ～中世根城南部家の一年～記録集』(令和6年3月15日発行)
- ・「八戸市日計遺跡出土の有舌尖頭器について」『八戸市博物館研究紀要』37(令和6年3月16日発行)共著
- ・「櫛引遺跡出土草創期土器付着炭化物の検討」『八戸市博物館研究紀要』37(令和6年3月16日発行)共著
- ・「竪穴建物跡数と集落遺跡分布からみた西目屋縄文遺跡群」『青森県考古学』31 青森県考古学会(令和6年3月31日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講演「三戸南部氏と根城南部氏」於：八戸市博物館『三戸郡中学校教育研究会社会研究会研修』(令和5年7月28日)
- ・講演「八戸の縄文文化と社会」於：苫小牧市美術博物館『苫小牧市美術博物館特別展「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」講演会』(令和5年8月26日)
- ・事例報告「八戸市と階上町の縄文時代」於：三戸町中央公民館 シンポジウム「再発見“さんばちの縄文”-沿岸と内陸の縄文文化を語る-」『地元の縄文再発見フェア in さんばち』(令和5年9月17日)
- ・「史跡根城跡の環境整備」於：八戸市博物館『根城史跡ボランティアガイド自主研修』(令和6年2月4日)

【他機関からの委嘱】

- ・青森県考古学会 運営委員(平成22年～)
- ・日本災害・防災考古学会 総務委員会代表委員(令和4年～)

野沢 江梨華(主査兼学芸員・歴史学)

【執筆活動】

- ・「学芸レポート 八戸南部家ゆかりの寄贈資料」『八戸市博物館だより』65(令和5年12月1日発行)
- ・「八戸工業大学との共同研究について」『八戸市博物館研究紀要』37(令和6年3月31日発行)共著

小林 力(主査兼学芸員・民俗学)

【執筆活動】

- ・「コショウバイとしての漁と海との関わりー八戸市南浜を事例にー」『東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター研究報告』37・38(令和6年1月31日発行)
- ・「丸元えんぶり組資料について」『八戸市博物館研究紀要』37(令和6年3月31日発行)

山野 友海(主査兼学芸員・歴史学)

【執筆活動】

- ・『八戸市博物館収蔵資料選集 日本刀』(令和5年7月8日発行)
- ・「資料紹介 万力鎖ー旧藩士・遠山家の寄贈資料よりー」『八戸市博物館だより』66(令和6年3月31日発行)

中村 隼人(史跡根城整備専門員・建築史学)

【執筆活動】

- ・「坂本茂氏住宅記録調査報告」『ふる里なんぶ第17号』(令和5年6月15日発行)
- ・「盛岡藩麻布下屋敷の研究(1)」『日本建築学会東北支部研究報告集計画系第86号』(令和5年6月25日発行)
- ・「盛岡藩麻布下屋敷の研究(2)」『日本建築学会東北支部研究報告集計画系第86号』(令和5年6月25日発行)
- ・「根城本丸の表御殿」『八戸市博物館開館40年記念シンポジウム 根城・再考Ⅲ～中世根城南部家の一年～資料集』(令和5年10月28日発行)
- ・「応物寺山門調査報告」『郷土誌はしかみ第80号』(令和6年3月15日発行)
- ・「北熊ノ沢(2)遺跡で検出された焼失竪穴建物跡の復元検討」『毛合清水(3)遺跡・北熊ノ沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第643集(令和6年3月15日発行)
- ・「八戸市立図書館150年の建築」『八戸市博物館研究紀要第37号』(令和6年3月31日発行)
- ・「旧八戸城東門調査報告」『八戸市博物館研究紀要第37号』(令和6年3月31日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「殿様がやってくる！参勤交代と三戸」於：三戸町中央公民館『三戸町歴史講座(三戸町教育委員会)』(令和5年7月22日)

- ・研究報告「根城本丸の表御殿」 於：八戸市総合福祉会館『八戸市博物館開館 40 年記念シンポジウム根城・再考Ⅲ(八戸市博物館)』（令和 5 年 10 月 28 日）
- ・講座「旧八戸城東門の歴史と評価」 於：八戸市博物館『史跡根城ボランティアガイド自主研修』（令和 6 年 1 月 7 日）

【他機関からの委嘱】

- ・史跡檜山安藤氏城館跡調査整備委員(能代市教育委員会)
- ・八戸工業大学工学部非常勤講師
- ・青森県文化財保護指導員
- ・南部町文化財調査員
- ・青森県埋蔵文化財調査センター発掘調査等調査員

VI. 博物館展示リニューアル事業

1. 背景

- ・開館から 40 年経過し経年劣化したことによる空調や照明などの各種設備の機能不全。
- ・国の基準見直しによる、展示収蔵環境及び防災設備の非対応。
- ・増加した国重要文化財等の収蔵品や、最新の研究蓄積の公開が不十分。
- ・社会情勢の変化(インバウンドと未就学児への対応、求められる地域活性化の交流拠点等)。

2. コンセプト

- ・ハード面：安心安全で誰もが使いやすい博物館。
- ・ソフト面：風土に根ざす八戸の特徴的な文化を伝える博物館。

3. 主な改修内容

(1)展示関係：定期的な展示更新が容易な設えとしつつ、地域活性化の交流拠点を目指す。

- ・ケースと照明設備の更新
- ・考古・歴史・民俗の各展示室の全面改修

(2)設備関係：防災と展示収蔵環境の強化

- ・特別展示室等の防火設備改修
- ・バックヤードに防犯設備設置
- ・収蔵庫の扉改修及び照明の LED 化
- ・渡り廊下への自動扉設置(常設展示室の温湿度の一定化のため)
- ・別途、施設長寿命化のため、空調施設更新、及び展示室外の LED 化工事を実施

4. 事業スケジュール

- 令和5年度：基本設計

委託契約先：(株)トータルメディア開発研究所

契約期間：令和5年6月16日～令和6年3月22日

契約金額：17,050千円

- 令和6年度：実施設計
- 令和7年度：工事着手(～令和8年度までの予定)・休館
- 令和9年度：からし期間を経て、再開予定

5. 改修検討会議

○第1回会議

日程：令和6年1月16日(火)

内容：・改修の方針について

- ・設備改修について
- ・展示リニューアルについて
- ・体験学習コンテンツについて

○有識者名簿

氏名	所属等	分野
佐々木 亨	北海道大学大学院文学研究院 特任教授	博物館経営学・博物館学
建石 徹	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学センター長 文化財防災センター 副センター長	文化財の防災・保存科学
石垣 悟	國學院大學観光まちづくり学部 准教授	民俗学・博物館学
池田 拓馬	八戸学院大学短期大学部幼児保育学科准教授	博物館活用(美術・幼児教育)
工藤 竹久	八戸市文化財審議委員 八戸市博物館協議会会長 元八戸市博物館長	考古学
山田 泰子	八戸市美術館 美術専門監 八戸市文化財審議委員	歴史学

第二部 史跡根城の広場

I. 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 16 年	根城跡が国指定史跡になる
昭和 47 年	史跡の国有化始まる
昭和 51 年	史跡根城跡保存管理計画策定
昭和 53 年	発掘調査開始
昭和 58 年	史跡根城跡遺跡環境整備基本計画策定
昭和 60 年	史跡根城跡遺跡環境整備事業始まる
平成 元 年	史跡等活用特別事業始まる
平成 3 年	史跡根城跡主殿復原事業始まる(～平成 5 年度)
平成 6 年	10 月 13 日、史跡根城の広場落成式典 同月 14 日から一般開放
平成 11 年	5 月、文化課から博物館へ管理替え

【施設概要】

1. 規 模	敷地面積 約 130,000 m ² 整備面積 約 30,000 m ² 建築面積 主 殿：544.1 m ² 付属施設：299.1 m ²
2. 構 造	主殿(本陣)：入母屋造 桁葺 (板倉・上馬屋)：切妻造 長板葺
3. 建物設計	財団法人文化財建造物保存技術協会 文化財保存計画協会ほか
4. 建築工事	株式会社東復建設
5. 展示設計 ・施 工	株式会社トータルメディア開発 研究所
6. 事 業 費	5,106,041 千円 用地買い上げ事業費 3,471,014 千円 発掘調査事業費 143,956 千円 環境整備基本計画策定委託費 2,950 千円 本 体 建 築 費 1,488,122 千円

II. 展示

1. 常設展

根城の広場は、昭和53年度から12年間に及ぶ発掘調査とその成果に基づく9年間の復原整備によって完成し、本丸のほか中館、東善寺跡などの曲輪からなる18万平方メートルの城跡である。

本丸内には主殿を中心に馬屋、工房、鍛冶公房、板蔵、納屋などの建物が立体復原されているほか、主殿の広間には、正月十一日の儀式(武事始め)の様子が再現されている。

なお、史跡根城の広場は、一般財団法人VISITはちのへが指定管理者として運営している。



根城の広場全景

Ⅲ 教育普及

1. 小中学校等団体利用状況

No.	来場日	学校名	人数	No.	来場日	学校名	人数
1	5.1	五戸町立上市川小6年	57	12	9.22	八戸市立城下小6年	53
2	5.2	八戸市立長者小3,4年	135	13	10.6	八戸市立島守小5,6年	16
3	5.2	八戸市立西園小1～6年	238	14	10.24	八戸市立西白山台小6年	89
4	6.5	八戸市立下長小4年	55	15	10.27	八戸市立白鷗小3年	32
5	6.21	三沢市立おおぞら小6年	13	16	11.2	八戸市立桔梗野小5年	5
6	7.5	八戸市立豊崎中1年	3	17	11.10	新郷村立新郷小6年	12
7	7.14	八戸市立町畑小5年	5	18	11.10	八戸市立根城小4年	73
8	9.1	八戸市立明治中1年	22	19	11.15	八戸市立江南小6年	18
9	9.14	八戸市立桔梗野小3年	37	20	11.16	八戸市立柏崎小6年	94
10	9.16	八戸市立轟木小1～6年	29	21	2.14	八戸市立根城小3年	61
11	9.22	八戸市立旭ヶ丘小3年	60	22	2.16	八戸市立江陽小6年	35
延べ22校 1,142人							

2. 指定管理者自主事業

(1) 根城おもしろ講座

歴史、体験など学習の場として利用者の文化向上、そして施設の利用拡大のため、幅広い層を対象とした学習プログラムを開催。

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	4月20日(木)	体験学習「初心者向け俳句を楽しもう」～史跡根城のしだれ桜～	俳誌「たかな」主宰 吉田 千嘉子氏	10人	10
2	6月11日(日)	歴史講演会「境目の奥羽再仕置－那須の場合」	大田原市那須与一伝承館学芸員 重藤 智彬氏	30人	28
3	7月9日(日)	歴史講演会「奥羽再仕置－八戸氏と櫛引氏」	八戸市文化財審議委員 熊谷 隆次氏	30人	36
4	7月16日(日)	歴史講演会 「奥羽再仕置と上杉氏」	米沢市上杉博物館 学芸員 阿部 哲人氏	30人	26
5	7月30日(日)	体験学習「郷土芸能の切り絵」をつくろう	天摩 譲氏	10人	9
6	8月6日(日)	体験学習「オニヤンマ」キーホルダーを作ろう	小向 詩子氏	10人	12

7	8月20日(日)	体験学習「桜染め体験～広場のしだれ桜でそめよう～」	根城の広場職員	午前・午後 各10人	12
8	9月17日(日)	体験学習 広場の季節の素材で作ろう Part I 「輪飾り」	根城の広場職員	10人	7
9	12月3日(日)	体験学習 広場の季節の素材で作ろう Part II 「お正月飾り」	根城の広場職員	午前・午後 各5人	6
10	12月17日(日)	体験学習 凧であそぼう	根城の広場職員	10人	10
					計 156人

(2)城の日

期 日：令和5年4月6日(木)9:00～12:00

目 的：根城が日本100名城に認定されていることのPRとともに、市民や観光客におもてなしをする。

内 容：広場職員が小袖・鎧兜で来場者をお出迎えし、記念品(剪定後のケヤキや桜で作った手作りキーホルダーとペーパースタンド)をプレゼントした。

来場者：46人

(3)第17回史跡根城さくらまつり

期 日：令和5年4月23日(日)9:00～16:00

内 容：・本丸無料開放

- ・クイズに挑戦！！
- ・中世庶民の装いでお出迎えし、各種チラシ配付
- ・オリジナルグッズ販売(さくら染めハンカチ等)
- ・花苗無料配布(50鉢)
- ・出張特別展示「中世の打掛と近世の打掛」
- ・出店(飲食物、苗木、野菜等)

来場者：680人

(4)鎧と小袖で記念撮影

期 日：令和5年5月1日(月)～7日(日)各日10:00～15:45 ※予約制

内 容：複製鎧・兜の着用と、小袖・袴・打掛姿で記念撮影をし、往時の根城の歴史を感じ、理解を深めてもらう。 ※予約制

No.	開催日	参加人数
1	5月1日(月)～7日(日) 各日 10:00～15:45	63組 183人
2	10月28日(土)～29日(日) 各日 10:00～15:45	11組 32人
3	11月18日(土)～19日(日) 各日 10:00～15:45	8組 19人

(5)根城記念祭

期 日：令和5年5月22日(月)10:00～12:10

主 催：根城史跡保存会

目 的：根城を築城した南部師行公の命日にあわせ、毎年開催されてきた根城記念祭を一般公開し、八戸発祥の地「根城」に対する認識を高める。

内 容：・本丸入場無料

・記念式典 櫛引八幡宮宮司による式典

・記念講演会 演題「根城をめぐる中・近世の社寺について」

講師 青森県文化財保護審議会副会長 藤田 俊雄 氏

・総会

来場者：104名(式典参加者除く)

(6)春の収穫祭～梅～収穫体験

期 日：令和5年6月13日(火)10:15～11:30 根城こども園 34人

令和5年6月14日(水)10:00～10:40 エンゼル子どもの家 14人

内 容：地元保育園の園児たちを招待し、普段食べている梅がどのような木に実っているか、実際に収穫することで知ってもらい、自然の恵みに感謝するとともに、根城の歴史に触れ親しんでもらう。収穫した梅は持ち帰り。

(7)第28回史跡根城まつり

期 日：令和5年10月8日(日)9:00～16:00

主 催：史跡根城まつり運営委員会

後 援：八戸市、八戸市教育委員会、根城史跡保存会

内 容：八戸発祥の地「根城」の歴史と郷土に対する認識を深めるとともに、伝統的な文化芸能などに市民が親しむ。

◎本丸会場

・本丸無料開放

・根城史跡ボランティアガイドによる案内

・ミニクイズ検定に挑戦(参加者300人)

・野点 82枚販売

・南部武将隊が本丸東門にてお出迎え・写真撮影

◎中館会場

・開会式

・地元小中学生や地域団体による演奏会や民俗芸能などの披露

・各種出店

来場者：6,110人(本丸1,103人)

(8)第15回根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会

期 日：令和5年10月23日(月)8:30～14:00 ※休場日

協 賛：根城南部家第37代当主 南部 光徹氏

後 援：八戸市教育委員会、八戸市グラウンド・ゴルフ協会

目 的：史跡根城の広場を憩いの場として提供し、手軽にプレーできるグラウンド・ゴルフを通じて、心身の健康や出会いの親睦を深めるとともに、史跡公園としての機能充実と活性化を図る。

内 容：旧八戸藩・盛岡藩区域(青森県南・岩手県北周辺)に属するグラウンド・ゴルフ団体(または個人愛好家)が、第15回根城南部杯(第37代当主南部光徹氏より寄贈のカップ)を懸けて競技する。

参加料：1,300円(1人)

参加者：299人

(9)イチョウWeek!

期 日：令和5年11月3日(金・祝)～12日(日)各日9:00～17:00

内 容：八戸市保存樹木第3号に指定されている大銀杏を多くの市民に親しんでもらうために、無料開放とした。また来場者へ、大銀杏の手作り菓子を、各日先着10人に配付した。

来場者：1,135人

(10)第8回お城EXP02023 展示PR(チラシ)設置

期 日：令和5年12月16日(土)～17日(日)

会 場：パシフィコ横浜ノース(神奈川県横浜市)

内 容：「お城EXPO」は、お城EXPO実行委員会が主催する、城郭文化の振興と発展や、お城ファンとの交流を目的に開催される国内最大のお城イベントで、令和5年の入場者数は18,088人だった。全国のお城ファンに広く「根城」を紹介するため、南部武将隊の特別企画の展示PRブースを借り、リーフレットやチラシなどの印刷物を設置した。

・根城四つ折りリーフレット	500枚
・根城MAP(日本語)	200枚
・根城MAP(英語)	100枚
・お城めぐりリーフレット	100枚

(11)第14回史跡根城・えんぶり公演

期 日：令和6年2月18日(日)～19日(月) 各日11:00～12:00

内 容：「八戸えんぶり」会期中に、主殿等を背景にえんぶり公演を開催し、八戸の代表的な民俗芸能に親しんでもらい、根城のPRを図った。

- ・18日 新組えんぶり組(どうさいえんぶり) 来場者568人
- ・19日 中居林えんぶり組(ながえんぶり) 来場者322人

(12) ものづくり体験工房

期 日：随時

目 的：当初は、冬場の誘客と施設の有効活用(旧料金所)を図ることを目的に、事前予約制で始めたが、好評だったことから通年でも体験を可能にし、できる限り予約不要で受け入れている。

講 師：根城の広場職員

内 容：・八幡馬の絵付けクラシックコース	2,000円	121人
・八幡馬の絵付けアレンジ(デコ)コース	2,500円	98人
・えんぶりミニミニ烏帽子作り	1,000円	12人

3. その他の教育普及活動(八戸市博物館主催事業)

(1) 青森大学共同研究

史跡根城の広場内で公開している薬草園のより良い管理・活用を目指し、青森大学薬学部との共同研究を令和3年度から行っている。研究期間は3か年であり、薬草園内の植栽リスト・マップ作りや、活用メニューの検討などを行っている。令和5年度はリスト及びマップのローデータが作成されたほか、活用の実践としてワークショップ「お屠蘇づくり」を開催した。

○青森大学ワークショップ「お屠蘇づくり」

日 程：令和5年12月3日(日)

講 師：小松一氏(青森大学薬学部 教授)

青森大学薬学部 学生

参加者：10人(定員10人)



(2) 中世衣装復元製作 with 千葉高2023

史跡根城の広場では、安土桃山時代の建物を復元した本丸主殿内で、中世装束の着用体験を実施している。当初は鎧(大人用1・子ども用2)、小袖と打掛(大人用・上流女性)を体験に用いていたが、安土桃山時代の根城に関する理解をより深めてもらうことを目的とし、令和元年度から市内の千葉学園高等学校と連携して復元衣装の製作を行っている。

令和5年度は、史跡根城の広場にあるキハダとブナを使って木綿・麻の布を染色し、小袖2着と四幅袴1着を制作した。



なお、制作は同校生活文化科(製作指導：石橋隆子教諭)の御協力により、同科3年生の生徒4名が夏休みを利用して行った。また、制作にあたり、立正大学文学部教授の佐多芳彦氏(有職故実)からの御指導も得た。

完成した衣装は、令和6年2月22日に当館でお披露目と贈呈式が行われた。

○制作内容

①小袖 2着

- ・材 料：平織りの綿布と麻布
- ・染 色：ブナ・キハダ(アルミ媒染)

②四幅袴 1着

- ・材 料：平織りの綿布
- ・染 色：キハダ(鉄媒染)

※ブナ・キハダは史跡根城の広場の間伐材などを利用した。

復元型紙は『時代衣装の縫い方』及び『戦国ファッション図鑑』、『貞丈雑記』を参考に制作した。



IV 資料管理

1. 保存修理

(1) 史跡根城跡環境整備事業

史跡根城跡は、5つの郭と無名の館からなる平城で、建武元年(1334)に南部師行が築城したと伝えられている中世城館である。寛永4年(1627)に遠野(現在の岩手県遠野市)に村替えとなるまでの約300年間、南部氏の居城として使われた。昭和16年12月13日に史跡に指定され、発掘調査結果に基づいて昭和60年度から環境整備事業に着手、平成6年に史跡公園「史跡根城の広場」として共用を開始した。昭和60年度から平成6年度にかけて復原された建物等は、20年以上経過した結果、老朽化や風雨による損傷が著しく、改修及び長寿命化を行い、来場者の安全を確保する必要がある。また、研究成果の蓄積に伴った解説の情報更新をはじめ、多言語化やバリアフリー対応を図り、史跡根城跡のさらなる魅力向上に努める。

平成30年度に「史跡根城跡保存活用計画」が改訂され、令和元年度には「史跡根城跡第二次整備整備基本計画」を策定した。この基本計画に基づき令和2年度に基本設計、令和3年度に実施設計を策定し、環境整備事業を本格化させた。

令和5年度は、①防災設備改修工事(第1期)、②大銀杏樹勢回復処置、③会議開催等の事業を推進した。令和5年度の関連会議・指導の開催回数は、整備活用検討委員会2回、主殿展示改修ワーキング会議2回、整備活用に係る現地指導2回である。

◎史跡根城跡本丸防災設備改修工事(第1期)

防災設備改修の第1期工事は、屋外消火栓設備既設6基の更新及び新規4基の設置とそれに伴う機械設備及び電気設備の改修を実施した。



◎史跡根城跡整備活用検討委員会

史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、平成30年から設置。委員は、文化財等の分野において専門的知識を有する者及び根城地区の代表者で構成し、6名を委嘱している。委員の任期は2年としており、委嘱期間は令和4年7月1日から令和6年6月30日まで。

委員名簿

氏 名	所 属 等	分 野
委 員 長 工藤 竹久	八戸市文化財審議委員	考古学
副委員長 北野 博司	東北芸術工科大学 教授	史跡整備
熊谷 隆次	八戸市文化財審議委員	中世史
倉原 宗孝	岩手県立大学 教授	都市計画
宮野 則彦	日本大学 非常勤講師	木材資源学
石橋 充志	根城地区連合町内会 会長	地区代表

○第1回会議

日程：令和5年8月30日

内容：(1) 令和4年度事業報告及び
令和5年度事業計画について
(2) 史跡根城跡本丸主殿改修について
(3) その他

○第2回会議

日程：令和6年2月2日

内容：(1) 令和5年度事業報告及び
令和6年度事業計画について
(2) 史跡根城跡環境整備事業のスケジュールについて
(3) その他

◎関連会議

○主殿展示改修検討ワーキング会議

第1回会議 令和5年10月6日

第2回会議 令和6年1月19日

○整備活用に係る調査・指導

【主殿展示改修に係る金属製品鑑定・整理指導】

第1回 令和5年11月14～17日

第2回 令和6年1月18～21日

【主殿展示改修に係る文献調査】

令和5年12月17日



◎本丸大銀杏の樹勢回復に向けた処置

史跡根城跡本丸内に築城当初からあったとされる推定樹齢 650 年の大銀杏があり、根城のシンボルとして広く市民に知られている。

近年、大銀杏の樹勢の衰弱化が指摘されており、大銀杏をこれからも維持していくため、令和 4 年度に樹勢回復に向けた樹根調査を行い、樹木医より大銀杏が根付く土壌の段階的な改良の必要性和対策方法が提案された。

これに基づき、3 か年にかけて土壌改良等の取り組みを行う計画とし、令和 5 年度は樹根範囲のうち約 32 m²を対象に有機改良剤・活性炭・発根剤を用いて土壌改良を行った。



(2) 旧八戸城東門修理事業

江戸時代に八戸城の東門(家臣通用門)として使用されていたもので、安政 6 年(1859)の大風で倒壊した際に家臣に払い下げられた後に、昭和 28 年(1953)に根城へ移築された。その後、平成 5 年(1993)に「史跡根城の広場」の整備に伴い、現在の場所へ移し、広場のエントランスとして活用している。平成 5 年に八戸市有形文化財(建造物)に指定された。

令和 3 年度に切妻屋根東面の北側 2 か所に破損が確認され、ルーフィング(防水材)・野地板が露出している状況であったことから、雨雪流入による汚損・劣化拡大を避けるため、改修の検討が進められた。

令和 4 年度の八戸市文化財審議委員の会議にて改修方針及び方法について諮り、了解を得た上で、令和 5 年度に下記の内容で屋根の葺き替え等の改修工事を行った。



修理前



修理後

工 事 名 : 旧八戸城東門屋根改修工事
設計・監理 : 八戸市建設部 建築住宅課
施 工 : 中山建具工業株式会社
期 間 : 令和 5 年 8 月 19 日～12 月 16 日
契 約 額 : 5,379,000 円

工 事 内 容 : ①屋根葺き替え

板屋根全体に老朽化が進んでいるため、野地板から上にある部材(野地板二段葺き、杉桤板、棟木、障泥板、破風、破風笠木、懸魚)を全て交換した。なお屋根葺きは長寿命化を考慮し、銅板葺きとした。

②あおり金物新調

門扉を控え柱に留める「あおり金物」が欠損しているため、新調復旧した。

③乳金物調整

乳金物の浮きを調整し復旧した。

V. 根城史跡ボランティア

1. 概要

平成8年設立の「根城地域ボランティアセンター」の一組織から、市内初の民間ボランティアとして平成9年に発足し活動を開始した。

ボランティアガイドは、4月から11月の繁忙期には、博物館休館日を除いてボランティアハウスに常駐している。来場者の希望に応じて、史跡根城跡や領主の一族である根城南部氏の歴史について解説を行っている。12月から3月までの冬期間は、原則予約制。



令和5年度は3,001人をガイドし、通算ガイド実績は133,470人となった。会員は26名(令和6年4月7日現在)。

2. 根城史跡ボランティアガイド養成講座

ガイドは、博物館主催の養成講座を受講するほか、館外研修やガイドによる自主研修等でスキルアップを図っている。

No.	開催日	内容	講師	対象・定員	参加人数
1	4月15日(土)	根城南部氏の歴代当主	滝尻侑貴学芸員 (八戸市立図書館)	高校生以上・10人	10
2	4月22日(土)	発掘調査からわかった根城跡	市川学芸員	高校生以上・10人	10
3	5月6日(土)	いっしょに歩こう！ 根城跡	市川学芸員	高校生以上・10人	9

第三部 南郷歴史民俗資料館

令和5年度は特別展「八戸昭和の鉄道・バス」を開催した。特別展では、八戸市博物館所蔵の鉄道・バス関係の資料と、鉄道友の会青森支部の会員所有の資料により、主要な交通機関として発展してきた鉄道とバスについて紹介した。

教育普及活動としては、南郷地区の文化財を巡る館外講座や、あそびを通して親子で文化を学べる「なんごうあそびのひろば」、しめ飾りづくりの体験講座を開催した。

その他、民俗分野の資料寄贈を受けた。

館内エアコン設置工事により、11月1日～3月31日に臨時休館とした。これによりミニコレクション展「そば」は中止となったが、教育普及活動は、館外講座であることや、「なんごうあそびのひろば」と体験講座は隣接する島守市民コミュニティセンターが会場であることから、予定どおり開催した。

I. 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和54年12月	建築工事完了
昭和55年10月	「南郷村立歴史民俗資料館」 として開館
平成3年5月	世増地区の民家1棟資料館 隣接地に移築
平成12年4月	収蔵庫増築
平成17年6月	市町村合併により、八戸市博物館 館条例一部改正 名称を「八戸市南郷歴史民俗資料館」とし、八戸市博物館分館 とする

【施設概要】

1. 規模	敷地面積	3,597.000 m ²
	建築面積	857.931 m ²
	展示室面積	193.430 m ²
	教育普及設備	35.000 m ²
	収蔵庫面積	281.125 m ²
	延床面積	753.315 m ²
2. 構造	鉄筋コンクリート造一部2階建	
3. 建物設計	株式会社久慈・一戸建築事務所	
4. 建築工事	東復建設株式会社	
5. 建設費		61,522 千円
	設計費	1,530 千円
	本体建築費	47,322 千円
	設備工事費	10,879 千円
	その他	1,781 千円

II. 展示

1. 常設展

【戦争と八戸】

本土決戦の想定地であった島守地区に築かれたトーチカを、模型で再現したコーナーを設けるとともに、戦争関係の資料を展示し、戦争と八戸について紹介する。

【青い目の人形「メリーちゃん」】

実物の展示と、映像により紹介・解説する。

【昭和の暮らし】

昭和の町並みとしてタバコ屋、玩具屋、本屋（貸本）といった商店を再現し、板塀・トタン塀に設置したフォトフレームに、戦後の八戸の情景を写し出して、なつかしい昭和の暮らしの情景を紹介する。



展示風景

【懐かしの道具】

主に昭和30年～40年代当時の電化製品や日用品を展示し、戦後に大きく変化した生活文化について紹介する。また「昭和40年代の居間」のコーナーには、昔のテレビを活用したモニターを設置して、昭和の南郷地区を紹介するビデオを映写している。

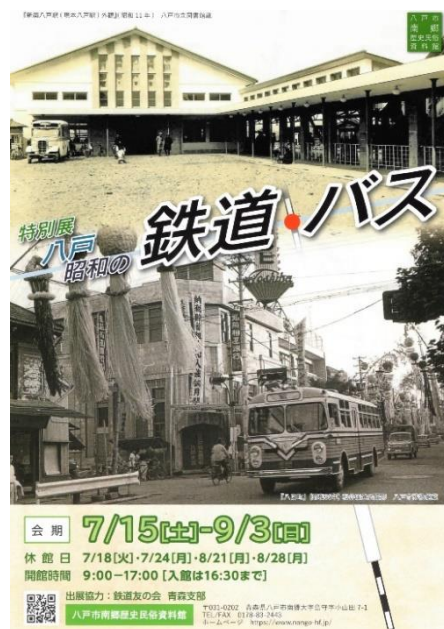


展示風景

2. 特別展・企画展

特別展「八戸昭和の鉄道・バス」

期 間	7月15日(土)～9月3日(日)
入館者数	780人/47日(17人/日)
展示資料数	76点
印刷物	ポスター(B2判/片面カラー) 600枚 リーフレット(A4判/両面カラー) 40,000枚 招待券(7×19cm/表カラー、裏モノクロ) 600枚
協力	鉄道友の会青森支部



八戸の鉄道とバスは開業以来、今日に至るまで主要な交通機関として発展し、八戸の人びとの生活を支え、共に歩んできた。本展ではその移り変わりを通して、昭和の時代を振り返るという趣旨で開催した。展示資料は鉄道関係と市内・県南地域で運営されたバス関係の資料で、国鉄時代の制服や記念品、切符、写真パネル、鉄道模型や市営バスの模型などであった。

会期中の入館者数について、世代では40歳代から60歳代が全体の約6割であり、家族連れの割合も同様であった。その一方で、お一人での入館者数は全体の3割程であった。

本展は、全国組織である「鉄道友の会」の青森支部より御協力を賜り、同支部の会員の方々が所有している記念乗車券などを含む切符、時刻表、そして車両に取り付けられたヘッドマークやサイドボード、そして展示用の鉄道模型など多種多様な資料を出品していただいた。また、併催行事として「鉄道模型運転会」を展示室内で実施していただき、本展に訪れた入館者は、新幹線や特急列車など様々な鉄道模型が走行する様子を観覧し、同支部の会員から解説を受けたり質問したりして楽しまれていた。

講演会については、五戸町教育委員会の村本恵一郎氏を招いて「南部鉄道について」を開催した。かつて県南地域で運営された南部鉄道の歴史について語っていただくとともに、貴重な画像や動画も上映された。

その他の併催事業では、八戸工業大学のサークル「鉄道研究会」の御協力により「八戸市内鉄道模型展示・運行」を開催した。同会が製作した八戸の街中や蕪島、館鼻漁港の朝市を題材にしたジオラマを館内玄関ロビーに設営し、八戸線の車両や貨物列車などを走行させた。来館者は、同会の学生及び顧問の先生と、鉄道やジオラマについて会話を楽しんでいた様子であった。

また、八戸臨海鉄道株式会社による「ミニSL運行」を開催した。当館収蔵庫棟の脇にある駐車場に専用の線路を敷設し、同社のミニ蒸気機関車を運行した。乗車用の車両に子供たちや親子を乗せた車両を牽引して駐車場を周回した。当日は晴天に恵まれ、午前・午後とも多数の家族連れが訪れて乗車し、周辺の水田や山々を眺めながら、力強く走行する列車を体感した。

(下村)



展示風景



展示風景

◎特別展併催行事

①講演会「南部鉄道について」

日 時 7月22日(土) 14:00～15:30

講 師 五戸町教育委員会教育課
課長補佐 村本 恵一郎氏

会 場 八戸市島守コミュニティセンター
2階会議室

参加者 9人



②「鉄道模型運転会」

日 時 7月16日(日)10:00～15:00

(休憩 12:00～13:00)

協 力 鉄道友の会 青森支部

(支部長 矢羽々貢氏)

会 場 当館展示室内／入場有料

観覧者 26人



③「八戸市内鉄道模型展示・運行」

日 時 8月19日(土)10:00～15:00

(休憩 12:00～13:00)

協 力 八戸工業大学鉄道研究会

(顧問 同大学教授 信山克義氏)

会 場 当館玄関ロビー／入場有料

観覧者 51人



④「ミニ SL 運行」

日 時 8月5日(土)

10:00～12:00／13:00～14:30

運 行 八戸臨海鉄道株式会社

会 場 当館駐車場／無料

参加者 58人



⑤ギャラリートーク

日 時 7月15日(土)・9月3日(日) 各日 11:00～11:30／14:00～14:30

講 師 下村資料館長

会 場 八戸市南郷歴史民俗資料館 展示室 F・特別展示室

参加者 延べ 10人

ミニコレクション展「そば」

期 間 11月11日(土)～3月17日(日)

前期: 11月11日(土)～12月24日(日)

後期: 1月6日(土)～3月17日(日)

展示一部入替: 12月26日(火)～1月5日(金) ※期間中、特別展示室のみ閉室

昭和 55 年（1980）旧南郷村の郷土資料館として開館した南郷歴史民俗資料館は、南郷地区をはじめ八戸市や近隣市町村にゆかりの民俗資料を約 1 万点収蔵している。ミニコレクション展では、館蔵資料の中からテーマごとに関連資料を展示している。

令和 5 年度は、エアコン設置工事に伴う臨時休館のため中止とした。

Ⅲ. 教育普及

1. 小中学校等団体利用状況

No.	来館日	学校名	人数	内容	職員
1	6.16	八戸市立小中野小学校 3 年生	54	解説・体験	下村館長ほか
延べ 1 校 54 人					

2. 出前授業

No.	期日	学校名・学年	内容	講師
1	3.13	八戸市立島守小学校 3 学年	昔の道具の説明	下村館長

3. 講師等派遣

No.	期日	派遣職員	内 容	場所	主催者（依頼者）
1	12.21	下村館長	歴史講座 「資料でめぐる南郷の文化財」	根岸公民館	八戸市立根岸公民館

4. 催事運営

（1）民俗講座

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	5 月 12 日(金)	南郷一周めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	8
2	6 月 2 日(金)	南郷わき水めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	9
3	7 月 7 日(金)	島守四十八社めぐり	下村館長・佐々木副館長	10 人	6
4	11 月 1 日(水)	南郷文化財めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	10
5	12 月 3 日(日)	しめ飾りづくり	滝沢カチ氏（外部講師）	10 人	10
延べ 43 人参加					

(2) なんごうあそびのひろば 場所：島守コミュニティセンター

No.	開催日	講座内容	講師（全て外部講師）	対象定員	参加者
1	5月28日(日)	暗闇で光る 透けるとんお手玉づくり	いちゃりば・おはな 松川 美紀子氏	親子10組	2組(7人)
2	6月18日(日)	親子でけん玉教室	エイトスパイクス 鹿糠 駿平氏	親子10組	2組(4人)
3	10月7日(土)	色を楽しむインクアート ーカラフルな葉っぱの飾りを作ろうー	Feel 浅川 ふさこ氏	親子8組	2組(4人)
4	11月5日(日)	くるくる巻いてつくる ペーパービーズ	Lien 長塚 佳子氏	親子8組	1組(3人)
延べ 18人参加					

Ⅳ. 資料管理

1. 部門別収蔵資料点数（令和6年3月31日現在）

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和5年度	0	0	1	1
総点数	1,822	5,905	11,069	18,7956

2. 寄贈資料

資料名	点数	寄贈者（敬称略）	寄贈年月日
《民俗資料》			
唐箕	1	松石 芳松	八戸市南郷 大字島守 5.8.18

3. 資料の利用状況

(1) 写真資料利用（映像・図版含む）

No.	申請者	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	岡安 雅彦	松石橋遺跡出土土器	1	撮影した写真の利用	5.7.5	「日本における覆い焼きの成立と展開（仮題）」
2	ものの芽舎	鬼の骨（複製品）	1	撮影した資料画像の利用	5.10.14	『季刊あおもりのき』『青森県のおもち』特集へ掲載
3	日刊水産経済新聞	ペンギンの彫刻 アザラシの彫刻 笛 スクリムショー 帆船模型	5	撮影した資料画を利用	6.3.15	「日刊水産経済新聞」に掲載

4	南郷商工会	特別展「クジラの村ー山から海へ出た男たちー」解説パネルデータ 画像・動画	6	データを利用して資料展示	6.3.19	南郷商工会主催「ワインセミナー」参考展示
---	-------	---	---	--------------	--------	----------------------

(2) 実物資料

No.	申請者	資料名	点数	利用方法	期間
1	ハピネスやくら	回想法貸出セット 学校の思い出	1	回想法	5.6.17～5.6.30
2	青森県埋蔵文化財調査センター	畑内遺跡出土球状耳飾り 泥障作狐森遺跡出土土偶 松石橋遺跡出土石刃 松石遺跡出土大珠	4	資料展示・資料画像掲載	5.7.28～5.10.13

(3) 資料調査ほか

No.	申請者	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	八戸工業大学 工学部工学科	古民家	1	古民家の実測	5.6.30	学生の実習
2	青森公立大学 国際芸術センター	捕鯨・クジラ関係資料	一式	閲覧	5.11.22	作品制作のサーチ
3	東北歴史博物館	黄檗遺跡出土 爪型文土器	1	現状確認、計測記録、	5.12.28	特別展に係る調査

V. 調査研究

1. 調査実績

資料館活動の基礎となる資料充実や展覧会準備のため、日常的に調査研究活動を行っている。主な調査実績は以下のとおり。

No.	日程	調査内容	調査地	職員
1	5.12.15～16	令和6年度特別展に係る調査	みやぎ蔵王こけし館(宮城県蔵王町) 日本こけし館(宮城県大崎市)	下村館長

2. 職員の調査研究活動

下村 恒彦（資料館長・民俗学）

【研究発表・講座・講演など】

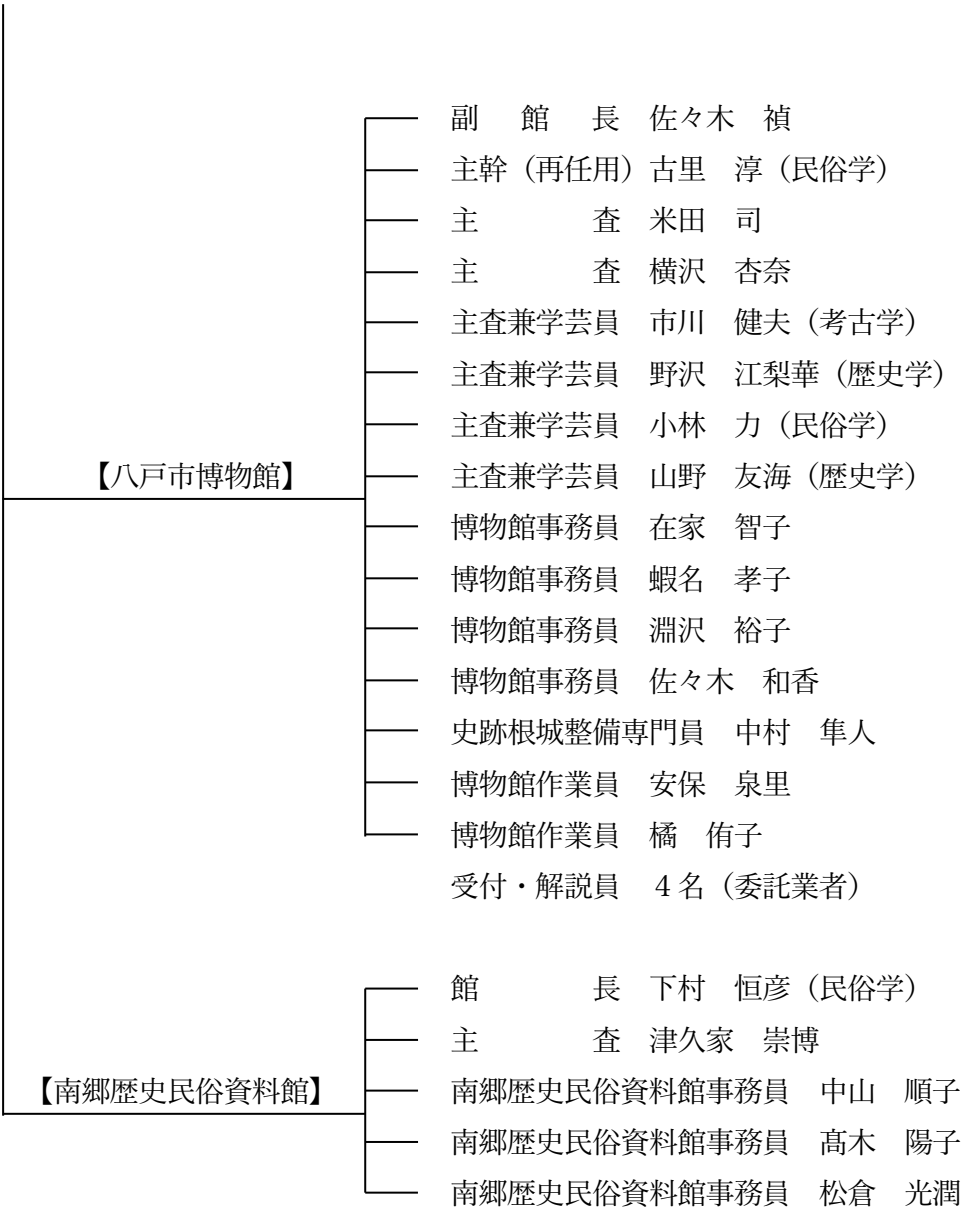
- ・根岸公民館歴史講座「資料でめぐる南郷の歴史」（令和5年12月21日）

第四部 運営・資料

I. 運営

1. 博物館組織及び職員構成

館長 小保内 裕之（考古学）



※令和5年4月1日現在

令和5年度	採用（5.1～12.31）	南郷歴史民俗資料館	事務員	大久保 孝子
	採用（R6.1.4）	八戸市博物館	事務員	菅澤 早希子
令和6年度	採用（4.1）	八戸市博物館	主事兼学芸員	高橋 怜土（考古学）
	採用（5.16）	南郷歴史民俗資料館	事務員	福田 敏子
	採用（6.1）	八戸市博物館	事務員	尾形 美翔

2. 博物館協議会

【第1回】

日 時：令和5年6月30日(金) 13:30～15:00

場 所：八戸市博物館 体験学習室

案 件：令和4年度事業実施報告について・令和5年度事業計画について
その他

【第2回】

日 時：令和6年2月15日(木) 14:00～16:00

会 場：八戸市博物館 体験学習室

案 件：令和5年度事業実施報告について・令和6年度事業計画について
その他

【博物館協議会委員名簿】（任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日）

氏 名	所 属 等
会 長 工藤 竹久	元八戸市博物館館長
副会長 滝尻 善英	青森県文化財保護協会会長
有馬 克美	元青森県立郷土館協議会委員
元沢 弘志	根城史跡ボランティアガイドグループ代表
川口 桂子	デーリー東北新聞社 執行役員論説委員長
平間 恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット代表理事
工藤 由貴子	駒沢幼稚園 園長
出貝 幸浩	八戸市立城北小学校長
蔦川 誠	八戸市立長者中学校長

3. 予算の概要

【博物館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
運営経費		59,765	48.1	
内訳	一般管理事務	25,555	20.6	会計年度任用職員報酬・謝礼・委託料・需用費
	施設維持管理	34,210	27.5	修繕料・委託料
展示活動経費		64,588	51.9	
内訳	各種展覧会体験講座等	17,547	14.1	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集・保存・調査	32,234	25.9	会計年度任用職員報酬・収蔵資料修復・委託料
	指定・認定文化財保存活用	14,807	11.9	会計年度任用職員報酬・委託料
計		124,353	100.0	

【根城の広場】

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
管理運営経費		92,853	100.0	
内訳	環境整備	51,777	55.8	委託料・環境整備工事
	施設維持管理	40,821	44.0	修繕料・指定管理料
	一般管理費	255	0.2	需用費
計		92,853	100.0	

【南郷歴史民俗資料館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
運営経費		35,591	86.3	
内訳	一般管理事務	8,458	20.5	会計年度任用職員報酬・需用費・役務費
	施設維持管理	27,133	65.8	修繕料・委託料・工事請負費
展示活動経費		5,644	13.7	
内訳	各種展覧会体験講座等	4,265	10.3	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集・保存・調査	1,379	3.3	会計年度任用職員報酬・委託料
計		41,235	100.0	

Ⅱ．資料

1. 入館者利用状況

【博物館】

	博 物 館 単 独 券						共 通 券						割 引 券		免 除	市内 小中	市外 小中	入館者 総 数	開館 日数	平均 入館者	前年度 入館者	
	個 人			団 体			個 人			団 体			高齢者 障がい者	その他								
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計							
4月	139	8	147	0	0	0	400	10	410	21	0	21	48	16		381	32	23	1,078	27	39.9	1,251
5月	263	13	276	20	0	20	714	8	722	26	0	26	59	37		396	168	55	1,759	28	62.8	1,297
6月	197	3	200	24	0	24	442	11	453	0	0	0	23	47		97	64	40	948	27	35.1	823
7月	520	18	538	22	0	22	521	14	535	0	0	0	125	34		536	118	119	2,027	28	72.4	1,128
8月	1,225	98	1,323	0	0	0	819	70	889	29	0	29	230	32		535	133	236	3,407	29	117.5	1,322
9月	219	11	230	0	0	0	611	28	639	0	0	0	34	37		197	290	30	1,457	27	54.0	1,443
10月	327	7	334	0	0	0	439	10	449	65	0	65	115	22		1,117	96	69	2,267	27	84.0	2,214
11月	381	10	391	30	0	30	181	2	183	24	0	24	61	17		778	218	48	1,750	26	67.3	1,678
12月	120	1	121	0	0	0	157	5	162	0	0	0	14	11		66	11	13	398	22	18.1	658
1月	192	2	194	0	0	0	151	2	153	0	0	0	97	10		222	64	26	766	23	33.3	467
2月	387	30	417	0	0	0	421	19	440	0	0	0	189	23		367	276	21	1,733	27	64.2	1,022
3月	306	14	320	33	0	33	289	13	302	0	0	0	140	30		183	67	47	1,122	27	41.6	1,217
計	4,276	215	4,491	129	0	129	5,145	192	5,337	165	0	165	1,135	316		4,875	1,537	727	18,712	318	58.8	14,520

【根城の広場】

	根 城 の 広 場 単 独 券						共 通 券						割 引 券		免 除	市内 小中	市外 小中	入場者 総 数	開場 日数	平均 入場者	前年度 入場者
	個 人			団 体			個 人			団 体			高 齢 障 が い	そ の 他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	高 齢 障 が い	そ の 他							
4月	579	5	584	66	0	66	398	11	409	21	0	21	148	23	733	44	0	2,028	27	75.1	2,509
5月	777	25	802	40	0	40	677	15	692	21	0	21	79	28	309	263	0	2,234	28	79.8	1,732
6月	555	10	565	32	0	32	417	13	430	0	0	0	26	79	153	8	32	1,325	27	49.1	1,048
7月	584	13	597	29	0	29	492	15	507	0	0	0	56	36	170	14	61	1,470	28	52.5	1,345
8月	686	43	729	0	0	0	749	81	830	29	0	29	59	33	150	19	189	2,038	29	70.3	1,534
9月	598	18	616	25	0	25	584	38	622	0	0	0	27	39	141	115	35	1,620	27	60.0	1,813
10月	521	4	525	199	0	199	409	10	419	116	0	116	36	30	6,784	131	32	8,272	27	306.4	6,388
11月	158	5	163	0	0	0	161	6	167	0	0	0	19	7	1,214	112	12	1,694	26	65.2	2,250
12月	121	2	123	0	0	0	144	6	150	0	0	0	8	24	27	4	10	346	22	15.7	425
1月	78	0	78	0	0	0	141	6	147	0	0	0	14	13	27	12	18	309	23	13.4	225
2月	606	17	623	0	0	0	384	28	412	0	0	0	235	25	208	106	22	1,631	27	60.4	1,037
3月	247	20	267	0	0	0	264	23	287	0	0	0	16	34	68	15	43	730	27	27.0	990
計	5,510	162	5,672	391	0	391	4,820	252	5,072	187	0	187	723	371	9,984	843	454	23,697	318	74.5	21,296

【南郷歴史民俗資料館】

月	個人			団体			割引券		免除	市内 小中	市外 小中	入場者 総数	開場 日数	平均 入場者	前年度 入場者
	一般	大・高	計	一般	大・高	計	高齢 障がい	その他							
4月	18	0	18	0	0	0	1	0	2	0	1	22	27	0.8	33
5月	41	3	44	0	0	0	8	0	25	8	2	87	28	3.1	119
6月	20	1	21	0	0	0	5	0	22	54	2	104	27	3.9	71
7月	119	3	122	0	36	36	23	0	33	22	1	237	28	8.5	369
8月	297	16	313	0	0	0	58	0	59	65	21	516	29	17.8	607
9月	70	1	71	0	0	0	15	0	31	17	1	135	27	5.0	475
10月	47	2	49	64	0	64	3	0	32	1	0	149	27	5.5	95
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13	0	—	237
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	—	29
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	29
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	36
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	64
計	612	26	638	64	36	100	113	0	227	167	28	1,273	193	6.6	2,164

【開館時から年度ごとの累計（入館者数）】（単位：人）

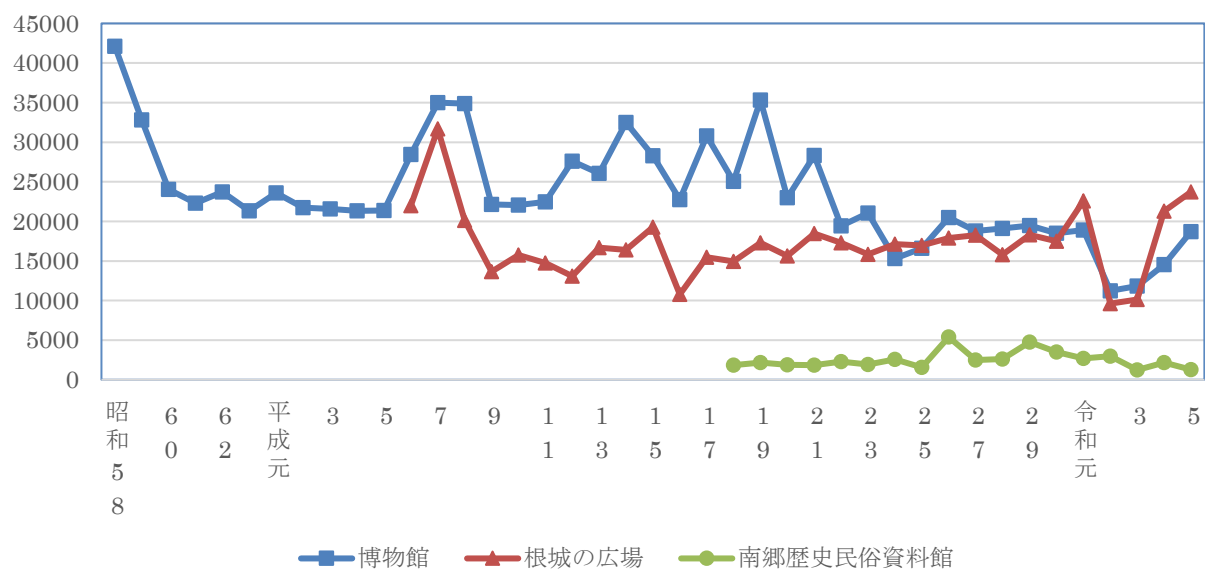
年 度	博物館	根城の広場	年 計
昭和 58	42,113		42,113
59	32,807		32,807
60	24,019		24,019
61	22,282		22,282
62	23,728		23,728
63	21,311		21,311
平成元	23,579		23,579
2	21,726		21,726
3	21,551		21,551
4	21,310		21,310
5	21,373		21,373
6	28,456	21,984	50,440
7	34,991	31,664	66,655
8	34,870	20,130	55,000
9	22,130	13,636	35,766
10	22,042	15,757	37,799
11	22,450	14,718	37,168
12	27,610	13,096	40,706
13	26,064	16,686	42,750
14	32,504	16,394	48,898
15	28,299	19,276	47,575
16	22,726	10,787	33,513
17	30,780	15,474	46,254

年 度	博物館	根城の広場	南 郷 歴 史 民 俗 資 料 館	年 計
18	25,050	14,922	1,820	41,792
19	35,332	17,291	2,169	54,792
20	22,976	15,625	1,896	40,497
21	28,327	18,452	1,824	48,603
22	19,447	17,265	2,269	38,981
23	21,027	15,821	1,930	38,778
24	15,310	17,117	2,547	34,974
25	16,602	16,944	1,557	35,103
26	20,478	17,901	5,387	43,766
27	18,771	18,273	2,496	39,540
28	19,100	15,780	2,603	37,483
29	19,461	18,309	4,769	42,539
30	18,486	17,469	3,496	39,451
令和元	18,894	22,563	2,681	44,138
2	11,230	9,608	2,960	23,798
3	11,818	10,115	1,229	23,162
4	14,520	21,296	2,164	37,980
5	18,712	23,697	1,273	43,682
合 計	964,262	518,050	45,070	1,527,382

※博物館は昭和 58 年 7 月開館

※史跡根城の広場は平成 6 年 10 月開場

※南郷歴史民俗資料館は昭和 55 年南郷村立で開館
平成 18 年市博物館分館に



2. 条例

〇八戸市博物館条例（昭和58年3月30日条例第4号）

（この条例の趣旨）

第1条 この条例は、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、博物館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

（1） 名称 八戸市博物館

（2） 位置 八戸市大字根城字東構35番地1

2 八戸市博物館に分館を置き、その名称及び位置は、次のとおりとする。

（1） 名称 八戸市南郷歴史民俗資料館

（2） 位置 八戸市南郷大字島守字小山田7番地1

3 八戸市南郷歴史民俗資料館の附属施設として、南郷民具展示館を置く。

4 八戸市博物館の野外学習の場として、八戸市大字根城字根城47番地に八戸市史跡根城の広場を設ける。

（指定管理者による管理）

第3条 八戸市史跡根城の広場（以下「根城の広場」という。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第4条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

（1） 根城の広場で行う事業の企画及び実施に関する業務

（2） 根城の広場の施設、設備等の維持管理に関する業務

（3） その他八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める業務

（指定管理者が行う管理の基準）

第5条 指定管理者は、法令、条例、条例に基づく規則その他教育委員会が定めるところに従い、根城の広場の管理を行わなければならない。

（入館料等）

第6条 八戸市博物館及び八戸市南郷歴史民俗資料館の入館料並びに根城の広場の本丸（別表において「根城本丸」という。）の入場料は、別表のとおりとする。ただし、特別な資料を展示する場合の入館料は、教育委員会が別に定めることができる。

2 前項に規定する入館料及び入場料（以下「入館料等」という。）は前納しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（入館料等の還付）

第7条 既納の入館料等は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧できなくなったとき、その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館料等の減免）

第8条 教育委員会は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、その申請により入館料等を減免することができる。

（利用の拒否等）

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その利用を拒否し、現に行っている利用の中止を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。

（1） 感染性疾患があると認められる者

（2） 他の利用者の迷惑となり、又は公益を害するおそれがあると認められる者

（3） 係員の指示に従わない者

（4） その他管理上利用を不相当と認める者（損害賠償）

第10条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城の広場（以下「博物館等」という。）の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

（博物館協議会）

第11条 博物館等の円滑な運営を図るため、八戸市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、15人以内とする。
- 3 協議会の委員は、学校教育若しくは社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（史跡根城跡整備活用検討委員会）

第12条 史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、史跡根城跡の整備に関する計画の策定及び事業の推進に関し必要な事項について調査及び検討をし、教育委員会に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（委任事項）

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則（令和5年3月24日条例第16号）この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表（第6号関係）

入館料及び入場料

区分		個人	20人以上の団体 （1人につき）
八戸市博物館	一般	円 250	円 130
	大学生・高校生	150	80
八戸市南郷歴史民俗資料館	一般	150	100
	大学生・高校生	100	50
根城本丸	一般	250	130
	大学生・高校生	150	80

備考

- 1 中学生以下の物は、無料とする。
- 2 共通券により八戸市博物館及び根城本丸に入館し、及び入場しようとする者（個人に限る。）の入館料の合計額は、一般400円及び大学生・高校生240円とする。

○八戸市博物館条例施行規則（昭和 61 年 11 月 5 日教育委員会規則第 13 号）

（この規則の趣旨）

第 1 条 この規則は、八戸市博物館条例（昭和 58 年八戸市条例第 4 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（開館時間及び開場時間）

第 2 条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場の本丸（以下「根城本丸」という。）の開館時間又は開場時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要がると認めるときは、開館時間及び開場時間を変更することができる。ただし、根城本丸にあっては、指定管理者（条例第 3 条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開場時間を変更することができる。

（休館日及び休場日）

第 3 条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城本丸（以下「博物館等」という。）の休館日又は休場日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館し、若しくは休場することができる。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日にあたるときは、その翌日）

（2）国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

（3）12 月 27 日から翌年 1 月 4 日まで

2 前項の規定にかかわらず、根城本丸にあっては、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休場日に開場し、又は臨時に休場日以外の日に開場しないことができる。

（入館料及び入場料の納付）

第 4 条 博物館等の展示資料を観覧しようとする

者は、入館券又は入場券の交付を受ける際に入館料又は入場料（以下「入館料等」という。）を納付しなければならない。

（入館料等の還付）

第 5 条 災害その他不可抗力により展示資料の観覧ができなくなったときは、条例第 7 条ただし書の規定により、既納の入館料等の全額を還付する。

2 入館料等の還付を受けようとする者は、入館料等還付申請書（別記第 1 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の申請により入館料等の還付を決定したときは、入館料等還付決定通知書（別記第 2 号様式）により当該申請者に通知する。

（入館料等の減免）

第 6 条 条例第 8 条の規定により減免する入館料等の額は、次のとおりとする。

（1） 当市が主催する行事に使用するとき 入館料等の全額

（2） 特別支援学校の高等部が教育課程に基づく学習のため団体で入館し、又は入場するとき入館料等の全額

（3） 身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあつては、介護人 1 人を含む。）が入館し、又は入場するとき入館料等の 5 割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（4） 市内に住所を有する 65 歳以上の者が入館し、又は入場するとき 入館料等の 5 割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（5） 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき 入館料等の全額

(6) 当市が実施する公共交通活用型企画乗車券事業に係る博物館・史跡根城の広場バスパック施設入館料等割引券の提出を受けたとき 入館料等の5割に相当する額(当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。)

(7) その他教育委員会が特に必要であると認めるとき 教育委員会が定める額
(減免の申請)

第7条 入館料等の減免を受けようとする者は、入館料等減免申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前条第3号から第6号までの規定により減免を受けようとする者については、この限りでない。

2 教育委員会は、前項の申請により入館料等の減免を決定したときは、入館料等減免決定通知書(別記第4号様式)により当該申請者に通知する。

(行為の禁止)

第8条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場(以下この条において「八戸市博物館等」という。)においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 八戸市博物館等の設備等を損傷し、又は滅失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして展示資料等の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。
- (4) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。
- (5) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。
- (6) 八戸市博物館等の施設及び敷地内において喫煙すること。
- (7) 所定の場所以外において火気を使用すること。

(8) その他八戸市博物館等の管理に支障がある行為

2 前項第3号の許可を受けようとする者は、資料特別利用許可申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に資料特別利用許可書(別記第6号様式)を交付する。

(資料の寄託)

第9条 博物館等に資料の寄託をしようとする者は、当該資料に資料寄託申請書(別記第7号様式)を添えて教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、資料の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に資料受託書(別記第8号様式)を交付する。

(寄託資料の免責)

第10条 教育委員会は、寄託を受けた資料が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっては、その賠償の責めを負わない。

(委任事項)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が定める。

附 則(令和5年3月29日教委規則第3号) この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別記

第1号様式(第5条関係) 省略

第2号様式(第5条関係) 省略

第3号様式(第7条関係) 省略

第4号様式(第7条関係) 省略

第5号様式(第8条関係) 省略

第6号様式(第8条関係) 省略

第7号様式(第9条関係) 省略

第8号様式(第9条関係) 省略

○八戸市博物館協議会規則（昭和58年3月31日教育委員会規則第8号）

（趣旨）

第1条 この規則は、八戸市博物館条例（昭和58年八戸市条例第4号）第11条第5項の規定に基づき、八戸市博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会には、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会は、会長が招集する。ただし、

新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（資料の提出の要求等）

第4条 協議会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

（その他の事項）

第5条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則（平成24年3月29日教委規則第3号）この規則は、平成24年4月1日から施行する。

○八戸市博物館組織等規則（昭和58年3月31日教育委員会規則第7号）

（この規則の趣旨）

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条第1項の規定に基づき、八戸市博物館（以下「博物館」という。）の組織等について必要な事項を定めるものとする。

（分掌事務）

第2条 博物館は、おおむね次に掲げる事務を分掌する。

- （1）博物館の管理に関すること。
- （2）八戸市南郷歴史民俗資料館の管理に関すること。
- （3）博物館事業に関すること。
- （4）博物館協議会に関すること。
- （5）史跡根城の広場に関すること。
- （6）その他庶務一般に関すること。

（職制）

第3条 博物館に館長その他必要な職員を置く。

2 博物館には、前項のほか、副館長、南郷歴史民俗資料館館長、参事、副参事、主幹、主査、主事その他の職員を置くことができる。

（職務）

第4条 館長は、上司の命を受けて博物館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 副館長は、上司の命を受けて館長を補佐し、当該職員を指揮監督する。

3 南郷歴史民俗資料館館長（以下「分館長」という。）は、上司の命を受けて南郷歴史民俗資料館の業務を掌理し、当該職員を指揮監督する。

4 参事、副参事及び主幹は、上司の命を受けて博物館の事務に関する特定の事務に従事し、当該職員を指揮監督する。

5 主査は、上司の命を受けて当該分掌事務に

従事し、当該職員を指揮監督する。

6 主事その他の職員は、上司の命を受けて当該事務に従事する。

（事務の代決又は代行）

第5条 館長、副館長及び分館長が出張その他の理由により不在であるときは、当該上席の職員がその事務を代決又は代行することができる。

（館長の専決事務）

第6条 館長は、次に掲げる事務を専決することができる。

（1）八戸市博物館条例（昭和58年八戸市条例第4号）第9条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則（昭和61年八戸市教育委員会規則第13号）第8条（行為の禁止）第3項の規定に基づく博物館の管理に関する事務を行うこと。

（2）八戸市教育委員会事務取扱規程（昭和39年八戸市教育委員会訓令第1号）第6条（課長の専決事務）各号に掲げる事務を行うこと。

第7条 削除

（分館長の専決事務）

第8条 分館長は、八戸市博物館条例第9条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則第8条（行為の禁止）第3項の規定に基づく所管の分館の管理に関する事務を専決することができる。

（事務の取扱い）

第9条 事務の取扱いについては、この規則に定めるもののほか、八戸市教育委員会事務局の事務取扱いの例による。

附 則（令和6年3月29日教委規則第10号）この規則は、令和6年4月1日から施行する。

八戸市博物館年報 第 41 号 令和 5 年度

令和 6 年 7 月 1 日

編集・発行 八戸市博物館

〒039-1166 青森県八戸市大字根城字東構 35-1

TEL (0178)44-8111 FAX (0178)24-4557